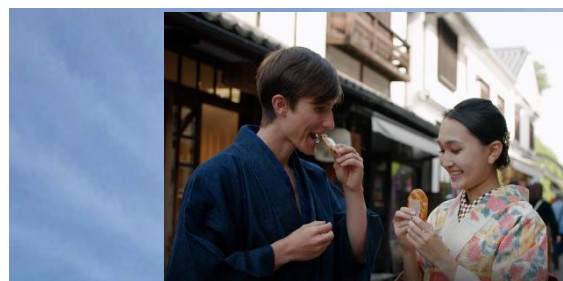


令和5年度 「専修学校留学生の学びの支援推進事業」

成果報告書

仮想空間とICTを活用した来日・学修・就職の
岡山県ワンストップ留学生支援体制設備事業



本報告書は、文部科学省の教育政策推進事業委託費による委託事業として
《一般社団法人岡山県専修学校各種学校振興会》が実施した
令和5年度「専修学校留学生の学びの推進支援事業」の成果をとりまとめたものです。

一般社団法人 岡山県専修学校各種学校振興会

目 次

はじめに	3
1. 事業の概要	4
2. 当該地域において取り組みを進める意義	5
A) 岡山県の外国人留学生の受け入れ状況	5
B) 外国人留学生の受け入れ推進に向けたターゲット国(地域)と分野 ...	5
3. 本年度実施した具体的取り組み	6
3.1 インド市場の深掘り	7
3.2 オンライン学習コンテンツの新機能開発	8
3.3 在留資格認定証明書の申請手続き及び在籍管理システムの新機能開発 ...	10
3.4 岡山県留学生就職マッチングシステムの新機能開発	13
3.5 3Dメタバースを活用した説明会の開催	13
4. その他付随して実施した取り組み	15
5. 事業実施に伴う成果物及び各取組詳細報告書	16
5.1 インド市場の深掘り	17
5.2 オンライン学習コンテンツの新機能開発	36
5.3 在留資格認定証明書の申請手続き及び在籍管理システム新機能開発	39
5.4 岡山県留学生就職マッチングシステムの新機能開発	45
動画制作	49
多言語ウェブサイト	51
SNS	56
6. 「ヒアリング調査・アンケート調査集計・分析業務」	58
7. 事業の実施体制	65
8. 事業全体の所感と改善案	68
9. 終了後に実施予定の取組及び成果の普及方策	72

はじめに

コロナ禍後の留学生回帰が本格化してきた現在、18歳人口の減少の中、大学、専門学校等による学生獲得はコロナ禍前よりも競争が激しくなっているといえます。そこには留学生の東京、大阪等の大都市への集中という現象の中で、特に地方都市にあっては、留学生獲得により、経営の安定を図らなければならない学校が今後も増え続けるのは必至であり、同時に18歳人口の減少は企業にとっても人材獲得という点では、企業の事業計画、経営戦略への影響も出てくることは想像に難くないところであります。

このような中において、本事業の目的は、岡山県という地方都市における留学生の「入り口と出口」すなわち「留学生の募集誘致・教育・就職定住」といういわば「ワンストップ岡山」の仕組みを構築していくこと、それは留学生が本県（岡山）のような地方都市に安心して定住してもらうことを目的に事業を進めていくことにあります。このことは地域にとって多文化共生の社会づくりへの貢献であり、企業にとっては企業の多様性ダイバーシティによる企業としての発展への貢献でもあると自負しております。

現在、外国人による就労は、2019年施行の「特定技能」に大きく傾いていると思われませんが、このような中において、私たち「一般社団法人岡山県専修学校各種学校振興会」は、上述したように地元企業に貢献できる留学生の高度人材育成を行っていくことが、専修学校、各種学校としての社会的使命であると認識しております。

本事業は、本県（岡山）が海外からの留学生にとって魅力ある留学の地であり、働き甲斐のある会社企業が多くあり、そして安心して暮らせる都市であるということ海外に発信し、多くの留学生の誘致を図り、日本語教育、専門課程教育、そして就職定住という「ワンストップ岡山モデル」の構築を進めてまいりました。

今後、岡山県下の行政や企業様にも、本事業の取り組みを周知され、多方面での留学生受入の機運が高まることを願い、地域の方々、企業の方々、そして外国人の方々による多文化共生社会が醸成していくことに期待したいと思っております。

最後に、本事業の推進にあたって、アンケート調査等にご協力いただいた学校、企業様、関連団体、行政機関の皆様をはじめ、様々な方面からの多大なご支援とご協力をいただきましたことを深く感謝申し上げますとともに、今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。

一般社団法人 岡山県専修学校各種学校振興会

会長 平田眞一

令和5年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業」 仮想空間とICTを活用した来日・学修・就職の 岡山県ワンストップ留学生支援体制設備事業

成果報告書

1. 事業の概要

「一般社団法人 岡山県専修学校各種学校振興会」(以下「岡専各」)加盟の専修学校等は、留学生を受け入れるための環境整備において、大都市圏の専修学校等に比べ大きく遅れをとっており、と同時にグローバル化は進んでおらず、また、少子化の影響を受けて、日本人学生数も減少傾向にあり、学生の確保が深刻な課題となっている状況である。

それを受けて、令和4年度に留学生受け入れ体制をつくるべく本事業を開始した。多言語ウェブサイトや日本語アプリおよび多言語動画の制作により、海外在住の外国人に対して岡山進学フェアを行い、是非岡山県へ留学したいと思える動機付けを行った。また、インドのIT教育機関とMOUを締結し、日本への人材輩出に勢いをつけることができた。

さらに、日本語学習アプリと在籍管理システムの制作と運用により、留学生の学修と生活サポートをより効率よく効果的に行う体制を構築した。さらに、岡山県下の行政や企業にも本事業を周知し、留学生向けの就職フェアを実施できた。

さて、昨今出入国在留管理庁が外国人の生活相談にのる専門職として「外国人支援コーディネーター」を置くことが発表された。(日経新聞令和5年4月14日付)。更に政府は3月17日の教育未来創造会議で、2033年までに外国人留学生を40万人受け入れる目標を示した。特に少子化の日本ではDX化を進めるために、IT人材の確保は急務となっているのは周知の事実である。よってこの目標は、昨今大きく回復しつつある宿泊分野(特にインバウンド市場)に加え、IT分野とそのITを活用したDX介護やDX貿易分野での就労も含まれていると考えられる。本事業で輩出する留学生は、一定のITスキルや知識を持っており、特に、介護や貿易分野及びインバウンド市場において、留学生の就労によって、効率的なサービスの提供や国際的なビジネスの発展が期待される。このことにより、日本の産業や経済に貢献することができる。

さらに、分野横断連絡調整会議の実施を通じて、岡山県下の行政や企業にも、本事業の周知を実施し、多方面で留学生受け入れの機運を醸成し、就労支援を行う。特に、介護及び観光等分野の企業に対して、専修学校でITを学ぶ留学生を輩出し、岡山県にとって、国際的な人材を活用したDX化を推進する契機とする。ワンストップ岡山モデルを構築していく。

2.当該地域において取組を進める意義

A) 岡山県の外国人留学生の受け入れ状況

「岡専各」は、県内の専修学校等60校・約70%を束ねる組織だが、加盟の専修学校等において、留学生を受け入れている学校は、わずかに10校程度であり、首都圏をはじめとする大都市圏に比べて、留学生の受入れで大きく遅れをとっている状況であった。また、岡専各としても、留学生募集のノウハウやネットワークが脆弱な状況であった。また少子化で日本人学生の確保も困難になりつつある。

岡山県では、少子高齢化対策として、下記岡山県人口ビジョン（以下、「ビジョン」という）を示している。岡山県のビジョンにも沿い、岡山駅周辺の街中心部だけでなく、日本が最重要課題のひとつとしている中山間地域での持続発展な街づくりを進めていく構想である。そのような岡山県の背景において、中山間地域において、その取組を促進させるためには、外国人の活躍は必須である。そこで、岡専各加盟校に加え、日本語教育機関、行政及び企業が連携し、留学生の養成と就職支援を進めることを本事業の骨格の一つとしたい。同時に県内企業においても、優秀な人材及び若年層の獲得が課題となっている状況であり、留学生受け入れ拡大と高度人材としての育成が必要である。

県内中小企業においても、専修学校等による留学生の高度人材の育成が求められている。県は、留学生増加計画を策定するなどし、岡専各がその仲介的役割を担うことに期待が高まっている。

昨年度より、対象分野と国について、まず岡山県内で人材不足が常態化または今後深刻になり、且つ留学生の就職実績があるIT・ホテル宿泊・介護の3分野を選定している。また、ターゲット国として、日本留学実績が高く3分野に就職実績があるネパールとベトナム、及びIT人材を世界に輩出しており14億という豊富な人口と多民族の多種多様な価値観を有するインド、以上の3か国を選定した。

そのような背景のもと、本事業では令和4年度に専修学校・各種学校の海外連携を深めるため、海外視察を実施し、インドはKLE テクノロジカル大学との連携協定＝MOUを締結した。さらに現地日本語学校とも交流を行い、日本留学希望者を確保した。本年度はインド教育機関との連携をさらに深め、就職の機会も創出するべく、現地での対面での日本・岡山留学就職説明会を開催する。

B) 外国人留学生の受け入れ推進に向けたターゲット国（地域）と分野

インド	ベトナム	ネパール
IT分野	ホテル宿泊分野	介護分野

令和5年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業」

仮想空間とICTを活用した来日・学修・就職の
岡山県ワンストップ留学生支援体制設備事業

3, 本年度実施した具体的な取組

3. 本年度実施した具体的な取組

3.1 インド市場の深掘り

昨年度、インドで成功した現地IT大学との連携協定MOU締結を受けての取組み

昨年度、インドで成功した現地IT大学との連携協定MOU締結を受けて、引き続き、別のIT大学とのMOU締結を行うため、インド市場を開拓していった。

具体的には、今年度、Parul University、MIT World Peace University、MIT Art, Design & Technology University、FUEL Business SchoolとMOUを締結し、岡山県へのインド留学生の増加に努める。昨年度実施したフバリのKLE テクノロジカル大学との連携を含め、来年度以降は、実際的な来日留学説明会を実施していきたい。

各大学では、実際に日本へ留学を希望するインド人留学生を確保すると同時に、日本で就職予定のインド人留学生と、その人材を雇用する予定の企業など具体的な就職実績を紹介し、インド国内へ周知をしていった。方法として、現地での対面交流会に加え、オンライン交流も行った。令和4年度の2Dオンラインツールではなく、令和5年度は3Dへ発展させてメタバースを活用し、インド視察で得たネットワークを活用することで、インドでの周知をかそくさせた。

また、新たな取組みとして岡山市と情報交換し、岡山県が姉妹都市提携を結んでいるプネーとの交流事業を進めるきっかけをつかった。岡山市議である森山氏に紹介して頂き、プネー市の皆様との交流をはかった。プネーはインドに20以上あるという公用語の一つであるマナティー語を話し、その文法は日本語と似ているといわれており、日本語学習熱が高い。過去にはプネー・岡山友好公園が建設され、それは岡山の後楽園がモデルになっている。過去には岡山商工会議所も企業視察団を派遣し、実際に日本の工業製品の商談をプネーで行うなど、積極的な交流をしてきた経緯がある。今回はプネーとの深い人脈を持つ学校法人森教育学園にも支援を仰ぎ、事業は具体的になった。コロナ禍以前から岡山との交流頻度が滞っていたプネーであるが、現地プネーに本部を置くAssociation of Friends of Japan (AFJ)とも密な情報交換を行い上記大学とのMOUを締結するに至った。今後はインドおよび日本において、学生交流および日本での就労を目的とした企業と学生との交流会も開催していきたい。IT人材は欧米等に行く人材も大変多いが、日本語学習熱が高い地域でもあるので、一定数の日本就職希望者の確保は可能だと考えている。さらに、昨年度、今年度の視察で得た、国際人材送り出し企業であるsilver peakのネットワークにより、その代表が岡山県にお越しになり、その様子を動画に収めた。

ただし、今回のインド視察で浮き彫りになった課題もある。日本の大学との連携を深める希望をもつ学生は多いが、専門学校との連携を深める希望は少ない。今後は、大学に比べたときの専門学校の魅力と優位性について、今一度周知する必要がある。

MOU締結

- ・ Parul University
- ・ MIT World Peace University、
- ・ MIT Art, Design & Technology University、
- ・ FUEL Business School



3.2 オンライン学習コンテンツの新機能開発

A, 日本語指導アプリ「Go To Okayama」の新機能開発

今年度の更なる取り組みとしては、昨年度が来日前の外国人への指導のみだったが、今年度は来日後に日本語教育機関に在籍する留学生への指導に比重を移す。学校法人格の日本語教育機関との連携を行い、具体的に、N3及びN2を中心とした日本語学習問題を追加するとともに、岡山の専門学校に関わる問題を掲載し、解いてもらうことで、岡山の専門学校の情報を周知することができる工夫を行う

(1)オンライン学習コンテンツとして、昨年度、来日前の外国人へ向けたものだったが、今年度は、各学校法人日本語教育機関と連携し、来日後に日本語学校等に在籍する留学生に特化したものとする。留学生が卒業後、具体的に岡山県内で就職するイメージを喚起させる

(2)多言語対応学習アプリのアップデート：1) 学習サポートへの課題に対しては、いつでもどこでも学べるアプリで時差の問題を払拭。2) スマホに合わせたレイアウトを適用。3) 学習進捗をリアルタイムで共有できる機能により授業効率を上げることによって課題解決を図る。日本語能力のN5、N4の日本語学習者に加え、今年度はN3、N2の問題を追加。言語も日本語、英語、ベトナム語に加え、中国語とインドネシア語を追加。在留資格の問題、日本での生活（ゴミ出しルール、市役所手続き等）さらに岡山の専門学校に関わる問題を追加。多言語で学べる。

(3)学習サポート体制の整備についてはオンライン学習には上述の多言語学習アプリを活用することで、留学生の来日時の迅速な生活立ち上げだけでなく、留学後の学習も可能にする。アプリの学習進捗の共有機能は、教員が学修サポートの効果を向上させる。

日本語学習アプリ「GoToOkayama日本語学習アプリ」

<https://app.gotojapan-okayama.com/login>

アンドロイド

<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.okasenkaku>

iPhone

<https://apps.apple.com/app/id6444712847>

3.2 オンライン学習コンテンツの新機能開発

B, 介護福祉分野の多言語アプリ開発

本事業の取組分野の一つである介護福祉分野において人材の確保と教育の質の向上のため、新たに介護福祉士試験過去問題解説含む介護の問題が解けるアプリの開発

(1)オンライン学習コンテンツとして、1) 介護福祉士試験過去問解説含む介護の問題。2) 個人別で間違えた問題を繰り返し学習。3) 模擬試験のように、答え合わせを最後に実施。

(2)意見を検討し、反映。

- ・ 学生にとって紙媒体のものより格段になじみやすい。
- ・ 進捗状況の詳細（問題の正誤の状況など）が把握できる。
- ・ 隙間の時間で取り組みやすく、モチベーションが保ちやすい。
- ・ 回答順による単純記憶で回答できないように、ランダムに出題する機能
- ・ 日本語・英語・ベトナム語に対応。

介護福祉分野の多言語アプリ「Care Go」

iPhone

<https://apps.apple.com/jp/app/carego/id6452981971>

アンドロイド

<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.jis.carego&pli=1>

KPI項目		1カ年目 (R4年度)	2カ年目 (R5年度)	3カ年目 (R6年度)
学習アプリ利用数	目標値	100人	300人	400人
	実績値	33人	132人	-
	達成率	33%	44%	-

3.3 在留資格認定証明書の申請手続き及び在籍管理システムの新機能開発

外国人にとって、日本の行政手続きや申請等は煩雑でありためその部分を外国現地のエージェントが法外な手数料を得て作成するケースが多い。それを改善するシステム開発を検討する。検討する手続きの一つが、「在留資格認定証明書（COE）の申請手続き」である。現行の手続きは、留学を希望する学生から受領した申請書を手作業で入力し、添付書類を受け取り、内容確認の上、出入国在留管理庁に提出という手続き工数が多い流れを取っている。

外国人にとって煩雑な「在留資格認定証明書（COE）の申請手続き」を昨年開発した「在籍管理システム」をアップデートすることで、「在留資格認定証明書（COE）の申請手続き」及び「在籍管理システム」をITツール連携により、効率化。在留資格認定証明書の申請手続きの工数が軽減できる。

【在留資格認定証明書（COE）の申請手続き】

《学校向け機能》

1.ログインと管理:

- ┆ 管理者アカウントにログインし、管理機能にアクセス。

- ┆ 学校情報の閲覧と編集。

- ┆ 新しい学生の追加、既存の学生情報の編集と削除。

2.情報の管理:

- ┆ 学生リストを一括インポート。

- ┆ 各学生の詳細情報の閲覧。

- ┆ ビザ取得プロセスに関連する添付ファイルの閲覧と管理。

- ┆ 日本語・英語・ベトナム語対応

3.チャット機能:

- ┆ 学校と学生の間でのオンラインチャット機能。

《学生向け機能》

1,多言語対応

- ┆ 日本語・英語・ベトナム語対応

2,情報管理

- ┆ ビザ取得に必要な情報の入力と編集

- ┆ ビザ取得に関連するファイルのアップロード

3,チャット機能

- ┆ 学校と学生の間でオンラインチャット機能

3.3 在留資格認定証明書の申請手続き及び在籍管理システムの新機能開発

【在籍管理システムの新機能開発】

学生情報

┆学校で学生登録すると、学生のアカウントを自動で発行

┆学校からのアカウント情報で学生がログイン可能。

学生ダッシュボード

┆学生自身で出席率の平均、取得単位などの確認ができる。

出席一覧、成績一覧

時間割確認

各書類申請フォーム

┆卒業証明書、在籍証明書等、学校へ証明書発行の申し込み

《教育機関への導入》

岡山外語学院（推進委員会委員）

日本ITビジネスカレッジ（推進委員会委員）

倉敷ファッションカレッジ（推進委員会委員）

【感想】

○システムとしてはとても良い。

○学校担当者が変わっても、このシステムがあれば引継いでやりやすくなると感じた。

○小さなミスを防ぐことができ、業務を効率化できるのではと感じた。

○共通システムを導入しているため、API連携できると良い。

留学生在籍管理システム



No.	学籍番号	氏名	ニックネーム	国籍	性別	在留期間満了日	状態	コース・クラス	率	単位	出身校	未入金
1	1	田中 玉田 TANAKA TAMADA		アゼルバイジ ヤン	男性		在学中	demo class	0.0%			未入金
2	2	HANATA		英国	女性		在学中	demo class	0.0%			未入金
3	C-1	AIDAN MUHAMMAD DARMAWAN		インドネシア	男性		在学中	demo class	0.0%			未入金
4	IB240001	Htoo		アイスランド	男性		在学中		0.0%			未入金

在留資格認定証明書（COE）の申請手続き



COEシステム

日本語 English Tiếng Việt

Demoさん

学生情報

申請書類

チャット

3.4 岡山県留学生就職マッチングシステムの新機能開発

《課題と改善》

(1) 留学生が求人情報にアクセスしやすく: 昨年度はログインしたユーザーのみ求人一覧を閲覧することができず、「使いづらい」「ログインしなくても求人が確認みれるようにしてほしい」との意見があり改善。ユーザーの利便性を向上させることを目的とし、求人一覧はログインしなくても参照できるように改善。また、学生ユーザーの登録が分かりにくいとの意見もあり、登録方法をユーザー情報のみで利用できるように簡素化。

(2) 企業に留学生人材へ興味をもってもらおう: 留学生のもつスキルはさまざまであり、その情報を広く公開することでより多くの企業に留学生人材に興味をもってもらえるよう、ログインしなくても求職者一覧（個人情報伏せた状態）を閲覧できるようにす。

(3) アルバイト情報の提供: 就職の求人情報に加えて、アルバイトなどの仕事情報も提供することで、留学生により多様な雇用機会を提供する。

Jobs in Okayama

<https://work.gotojapan-okayama.com/>

Work-Go To Okayama

日本語

login

求人者情報

求人一覧画面

Work-Go To Okayamaに登録して頂くと、あなたと面接を希望する企業がありましたら、メールにて連絡いたします。

登録後、あなたの履歴書が日本語、ベトナム語、中国語及び英語の履歴書になり、ExcelやPDFで出力できます。もし、就職が決まりましたら、編集画面で「就職決定済」として、更新してください。

求人一覧・検索

想定年収

業種

雇用形態

勤務地

日本語能力

職種

検索する

営業、事務、販売

岡山県

募集

想定年収
200万円以上300万円未満

更新日
2023/02/02

在留資格
技人国（技術・人文知識・国際業務）

日本語能力
N5以上

雇用形態
契約社員

賞与
あり

教育、専門職、通訳、翻訳

岡山県

募集

想定年収
200万円以上300万円未満

更新日
2023/02/01

在留資格
技人国（技術・人文知識・国際業務）

日本語能力
N2以上

雇用形態
正社員、契約社員、アルバイト

賞与
あり

3.5 3Dメタバースを活用した就職説明会の開催

オンライン交流会開催 2DのoViceから3Dメタバースへ

昨年度oViceを使用したが、知名度が低く、感覚的な操作が難しいこともあり、経験無しの参加者への説明に時間を要した。解決策として、他のプラットフォームに切り替えると、使用しやすくなるのではないかという結論に至り、昨年度も検討の俎上に載った3Dメタバースのサービスを利用することとした。

①岡山留学説明会

A、海外から日本の日本語学校へ

B、日本の日本語学校から専門学校へ

事前に海外の教育機関（現地日本語学校）や日本国内の日本語学校を介した周知活動を行った。昨年度は1回あたり10数人程度の参加だったが、今年度は1回あたり50人ほどの参加者となった。

②留学生のための就職説明会を通じた就職支援の強化

昨年度10社が参加した就職説明会の規模を拡大させ、16社の企業が参加。

また、企業へのアンケート調査をベースに、マッチング機能を充実させることで、岡山へ留学中の留学生の就職支援を後押し。就職活動を効率的に実施。



4. その他付随して実施した取り組み

本事業ではアンケートによる調査を実施した。

◎調査目的

2) 2021年度からのコロナ禍により、コロナ禍前とは異なる異常な留学生の募集と入学となった日本語学校、専門学校（専門課程）の留学生の募集の状況を少ないサンプルではあるが、委員会での委員の現況報告を実証的に調査した。

3) 本年度の本事業において特に仮想空間とICT活用が主な事業実施の核であることから、「事業実施に伴うアウトプット」における各項目について、次年度にアンケート調査を行うことによって、海外における学習者と学校関係者の問題の指摘と要望、更には事業への評価の集約を行い、同様のことを日本国内の留学生、学校機関、企業にも調査を実施し、事業実施による成果、測定指標を達成させていくこととしたい。

◎特にコロナ禍前の学生31万人への回復を進める中、いわばリセットされ本事業でのアプリ、システム開発によりコロナ禍前のネパール、ベトナム等の学生の「質」の比較という点(例えば来日後のN3.N2.N1取得率比較)で学習意欲の違い、就職へのモチベーション維持といったことも検証できる可能性がある国を対象国としたい。

①調査対象者は以下とする

A学生： 国内学生

B学校： 国内学校(日本語学校 専門学校)

C協力企業

調査方式：アンケートを実施する。

Webの回答フォーム方式。この調査は、広く意見を募りより多くの調査人数を獲得するために導入する。

調査結果の成果への活用

アンケート調査の目的をもとに、調査結果を総合的に分析し、課題と問題点だけでなく、評価を得た箇所においても次年度事業に活かすことにより、KPIの目標値を達成させていく。そのためにも、アンケートにおける調査で特に重要なところは、日本国内や対象国における日本留学に関心をもっている学習者及び動画視聴者であり、これらの数値を上げることが本事業の基礎である。よって学習者側の意見や要望を「交流会」という場で学校、企業の要望と課題をシンクロさせることが非常に重要であり、交流会のテーマの選定は、令和6年度と継続していく中で、参加者も含め可変的な要素のある実施項目である。

令和5年度 「専修学校留学生の学びの支援推進事業」

仮想空間とICTを活用した来日・学修・就職の
岡山県ワンストップ留学生支援体制設備事業

5,事業実施に伴う成果物及び各取組詳細報告書

インド視察報告

日本ITビジネスカレッジ

田中旬一

下記の通り、インド視察を行った。8つの教育機関を訪問し、総じてインドから岡山への留学生招致広報活動及びヒアリングを実施した。中でも、Parul Universityと岡山県専修学校各種学校振興会は、友好提携を締結することに成功し、先方様ネットメディアにも掲載された。

各視察参加者4名のプロフィール及び私以外3名の視察の感想も下記に記載する。

プロフィール

所属 学校法人せとうち

氏名 田中旬一

1979年 岡山県生まれ

2003年 九州大学法学部政治学科卒業

2005年 (株)ファーストリテイリング退社

2017年 学校法人せとうち 理事長

2022年 一般社団法人岡山県専修学校各種学校振興会
専修学校留学生の学びの支援推進事業
実施委員会 委員

【訪問先紹介】

《確認事項》

- 日本での留学、就職について、どんな分野へ興味ありか確認（IT/ホテル観光/ビジネス等）
- 認知度確認

① Delhi 日本語学校 /Furusawa Japanese Academy

住所：A-3,Second FLOOR, RAJOURI GARDEN, NEW DELHI-110027,INDIA

WHAT'S TSUBOMI??

Furusawa academy in providing the training and required proficiency that will enable the students to crack JLPT (Japanese Language Proficiency Test).The best part of the course is that along with the language training, students are also given insight on the mannerism, culture, business etiquettes and corporate manners observed in Japan

<https://furusawaacademy.com>

②-1 Vadodara Parul University

住所: P.O. Limda, Tal. Waghodia, Vadodara - 391760, Gujarat, India

概要：IT含む総合大学。今後、岡山県との交流を始める予定。

What is Parul University Vadodara famous for?

Research Oriented Academics/International Research Collaborations. /DSIR Recognized for Industrial Research./State of The Art Research Facilities.

②-2 Desportz- Institute Of Sport Management

住所: Office No: 8 Block A Temenos Business Park, Akshar Chowk, Vadodara, Gujarat

概要：The Desportz Institute educates athletes, sports, and business professionals to become leaders in sport management.Desportz is the premier institute in Vadodara, Gujarat, India to collaborate with universities, colleges, and institutions that offer courses in sports management. Identifying the need for experts in the industry, Desportz empowers its students with basic and advanced theories and techniques in the disciplines of management, marketing, merchandising, tourism, law, psychology, rehabilitation, nutrition, etc. related to the field of sports.

③ Pune

person who arranges: Mr. Sameer

destination

Address.

Summary

④ Pune MIT-ADT University

person who arranges: Mr. Isogai

Loni Kalbhor, Pune:

<https://mituniversity.ac.in/>

Meeting with Dr. Mangesh Karad, Executive President & Vice Chancellor (Mobile: 98-2203-7150)

Meeting time is fixed at 11:30a

Meeting location at his office in the MANET building.

Please arrive at the location well in advance by 11am.

MIT-ADT may offer a Campus/Dome/Museum tour followed by lunch at their guest house.

⑤ Pune Indo-Japan Business Council (IJBC)

person who arranges: Mr. Isogai

Aundh, Pune:

<https://www.ijbc.org/>

<https://www.konnichiwa.ijbc.org/>

https://maps.app.goo.gl/YZV1NTAgbgrZtL4g7?g_st=iw

Meeting with Mr. Siddharth Deshmukh, President

Meeting time is fixed at 3pm

Meeting location at his office in Aundh.

Please try to arrive early before 3pm.

Please inform him of your departure time from MIT-ADT. (Mobile: 98-9064-5779)

⑥ Pune Friends Union for Energising Lives (FUEL)

person who arranges: Mr. Sameer

destination

Address.

Summary

Brief about Mr. Ketan Deshpande: -

Ketan Deshpande, Founder of Friends Union for Energising Lives (FUEL).

Awarded by The Champions of Change-2017 by Niti Aayog and honored by Prime Minister Shri Narendra Modi Ji, he is also a Pavate Fellow of Judge Business School, University Of Cambridge, UK. Appreciated by former President Dr. APJ Abdul Kalam, Ketan, one of the youngest Ashoka Fellows, is dedicated to establishing FUEL Skill-Tech & Entrepreneurship University in Pune. Serving as Group Chairman of Fuel Business School, FUEL has positively impacted 1.1 million lives, empowering underserved youth across India through impactful CSR partnerships.

Video link : <https://youtube.com/watch?v=rgDYF1eTb80&feature=sharea>

⑦ Pune IT Preneur

<https://itpreneurpune.com/>

Contact Person Mr. Yogesh Patil

⑧ Delhi 日本海日本語学校

Summary 🇯🇵 Japanese native to teach Japanese language conversation & to pass JLPT N5 to N1 for Indians.

参加者プロフィール及び 視察の感想

プロフィール

所属 株式会社システムズナカシマ

氏名 井上 伸一

1954年 岡山県生まれ

1977年 私立千葉工業大学工学部電気工学科卒業

1977年 株式会社両備システムズ 入社

2004年 学校法人岡山科学技術学園 入園

2019年 株式会社システムズナカシマ 入社 現在に至る

2021年 一般社団法人吉備高原オープンイノベーション協会 専務理事 現職と兼務

2022年、2023年 一般社団法人岡山県専修学校各種学校振興会

専修学校留学生の学びの支援推進事業 実施委員会 委員

2023年2月10日

インド日本語学校、IT 大学訪問レポート

株式会社システムズナカシマ

井上 伸一

訪問期間 :2023年12月6日(水)~12月14日(木)

1. 2023年12月7日(木) Deli

訪問先：Furusawa Japanese Academy /日本語学校

これまで多くの課題に直面し、解決してこられたことをお聞きし、大変苦勞されてここまでの体制と実績を築いてこられたことが分かった。日本人の方が学校を運営されていることもあり、留学生の募集先として、日本側の要望に応じていただけると期待できる。

2. 2023年12月8日(金) Vadodara

訪問先：Parul University

学生数が5万人を超える私立の総合大学で、私立大学としてはインドでも上位にランクされている。学長は30歳代と若い方であるが、なかなかの貫禄があり、大学を大きくさせてきたという自信が伺えた。

当大学は2023年現在、世界の80か国とMOUを結んでいるが、日本の学校との提携はまだ行われていないということで、大学を挙げての歓迎を受けた。

当大学には日本への留学を希望する学生がすでにおり、今後IT分野での留学受け入れを進めていくことになる。日本での留学、就職への期待、そして文化への関心の高さに驚かされた。

写真：歓迎式の後で記念写真



MOU の締結



写真：大学の MOU 締結世界地図



日本への留学を希望する学生



3. 2023年12月8日(金) Vadodara

訪問先：Desportz- Institute Of Sport Management

Desportsは、各大学と提携し、スポーツを通じて学生の体力向上のみならずプロのアスリートを育成する機関で、本格的な施設設備と指導者を擁している。また驚いたことに、eスポーツ（コンピュータゲーム）のプロを養成するコースもある。

この機関の仕組みはビジネスとしても興味深いものがある。まだ開設されてから間もないとのことなので利用者は少ない。今後この施設の運営には相当の資金が必要となると思われる。事業計画についてさらなる説明を伺うことができればと思う。

写真：記念品授与



4. 2023年12月10日(日) Pune

訪問先：サミール氏弁護士オフィス訪問

サミール氏は、岡山県とプネー市との姉妹提携を進めてきた方で、現在も様々な面で、岡山とプネーの交流やビジネスのコーディネートを行っている。今後プネー市と様々な教育、文化、ビジネスの交流を進めるうえで、彼の役割は益々大きくなると思う。プネーは「インドのオックスフォード」として知られる学術都市で、IT人材を輩出する大学など教育機関がある。また日本企業向け工業団地を有し、岡山の製造業の企業も工場の起工式を先月行っている。人口は3百万人で、インドでは第8位である。岡山が今後交流していく先として、魅力的な市であると感じた。

写真：ミーティング



5. 2023年12月11日(月) Pune

訪問先：MIT-ADT University

MITアートデザイン工科大学は、IT やアートデザインのコースだけでなく、メディテーションのコースがあり、特に世界のあらゆる宗教の教えを平等に受け入れるという考えに基づいた教育を行っている。キャンパスは美しく、リッチな学生が多いという印象であった。

写真：歓迎ミーティング



学内寺院のドーム



6. 2023年12月11日(月) Pune

訪問先：Indo-Japan Business Council

インドと日本のビジネスを推進する機関が、Bangalore や Deli ではなく、Pune にあることに驚かされた。代表者に理由を聞くとプネーには、以前より日本とのビジネスに関心を持っている者が多く、彼らが中心となって当機関を設立したとのことで、インド全体のビジネスについて関与しているとのこと。今後この機関が、日本企業とプネーとの間のさらなるビジネス推進に繋がることを期待したい。

7. 2023年12月12日(火) Pune

訪問先：FUEL Skill-Tech & Entrepreneurship University

FUEL は、現在大学の資格を取得すべく申請を行っており、現時点では職業訓練学校と考えられる。FUEL は、CSR パートナーシップを通じて、インド全土の恵まれない若者を受け入れており、幅広い層の人材が得られる可能性がある。今後急速に発展すると思われる。

写真：学校の建物（まだ工事中）



歓迎式（熱気むんむん）



8. 2023年12月13日(水) Deli

訪問先：JAPANESE LANGUAGE COURSE & CLASSES NIHONKAI

当日本語学校には前回に続き2回目の訪問となった。運営担当者は日本と様々なかわりと経験を持っている方で、日本語のみならず、日本の文化や習慣などの面でもしっかりした指導を行っている学校であると感じた。

所感：今回は2度目のインド訪問となり、さらにインドの奥の深さを感じた。すべての訪問先で、日本よりインドの方が、強い関心と熱い期待を感じた。留学生の募集先というだけでなく、相互理解を深め、理解し合うことが大切であるとともに、ビジネスの面でも様々な業種業態での連携ができると感じた。インドは人口、国土が巨大な国で、色々な個所を網羅することはできない。その意味で、特にPuneは、教育、文化、産業の水準が高く、また、規模も丁度良いサイズ感で、今後Puneとの関係を作っていければよいと思う。

以上

プロフィール

氏名 宮嶋志保

所属 アジアマーケティング株式会社

2018年 日本ITビジネスカレッジ広報開始

2022年 岡山県専修学校各種学校振興会 インド広報開始

2023年 グロービス経営大学院卒業

2023年 アジアマーケティング株式会社委託契約

2023年 12月 22日

令和4年度岡山専各文科省委託事業
「専修学校版グローバル化対応推進支援事業」
海外日本語教育機関等(インド/ デリー・ヴァードラー・プナー)視察報告

アジアマーケティング株式会社
宮嶋志保

期間 :20 23 年 12月6日 (水)~12 月14日 (木)

① 訪問先:2023 年12月7日(木)

デリー 日本語学校/ Furusawa Japanese Academy

日本語能力試験 (JLPT) に合格するためのトレーニングや必要なスキルを提供、日本語のトレーニングに加え、日本でのマナー、文化、ビジネスマナー、企業マナーについても学べる日本語学校。日本の女性がご主人と経営されている。学生の笑顔を見ても伝わるかもしれませんが、生徒をととても大切にされている。

●写真左、ミーティングの様子。写真右、生徒さんたちとの記念写真。



② 訪問先 :2023年 12月 8日 (金)

ヴァードラー Parul University

研究指向の学術/国際研究協力。産業研究のためのDSIR認定。最先端の研究施設のある大学。含む総合大学。今後、岡山県との交流を始めるための交流。5万3千人、日本語を学ぶクラスには250名程度学生がいる。花のレイでの歓迎や日本へ期待学生によるスピーチなどおもてなしを受ける。

●写真左、花のレイでの歓迎。写真右、生徒さんたちの日本語での発表。



Parul大学は2023年現在、世界の80か国とMOUを結んでいる。日本はまだ結んでおらず。「日本から来てくれてとても嬉しい。」と大学国際の責任者の女性が話していた。

●写真左、MOUを結ぶ80か国の地図。写真右、MOU関係企業の図。



●写真左とても暖かく迎えていただいたパール大学の皆様。写真右、MOUを取り交わす



③ 訪問先 :2023年 12月 8日 (金)

ヴァドダーラ Desportz- Institute Of Sport Management

デスポーツ・マネジメント・インスティテュートは、アスリート、スポーツ界、ビジネス界のプロフェッショナルを育成し、スポーツ・マネジメントのを育成するインド・グジャラート州ヴァドダラの最高学府。観光、法律、心理学、リハビリテーション、栄養学など、スポーツの分野 に関連する基礎的かつ高度な理論と技術を身につけることができる。インドのスタートアップ企業である。

●写真左、施設について視察。写真右、贈り物をいただき記念写真。



- ③ 訪問先 :2023年 12月 10日 (日)
プネー サミール氏弁護士オフィス訪問
今回プネーの手配をしてくださったサミール氏の弁護士オフィス訪問。

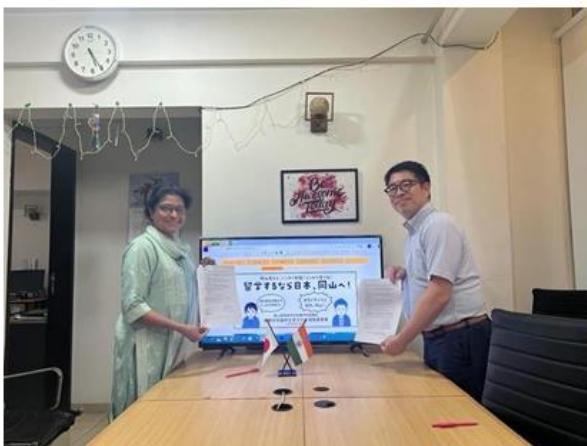


- ④ 訪問先 :2023年 12月 11日 (月)
プネー MIT-ADT University, (<https://mituniversity.ac.in/>)

● M O Uを取り交わす



- ⑤ 訪問先 :2023年 12月 11日 (月)
プネー Indo-Japan Business Council



⑥ 訪問先 :2023年 12月 12日 (火)
プネー FUEL Skill-Tech & Entrepreneurship University

FUEL Skill-Tech & Entrepreneurship Universityを設立した、ケタン・デシュパンデ氏は、ナレンドラ・モディ首相から表彰され、英国ケンブリッジ大学ジャッジ・ビジネス・スクールフェローでもある。FUELはインパクトのあるCSRパートナーシップを通じて、インド全土の恵まれない若者に力を与え、110万人の人生にプラスの影響を与えている。

●写真左、施設について視察。写真右、贈り物をいただき記念写真。



●写真左、施設について視察。写真右、贈り物をいただき記念写真。



⑦ 訪問先 :2023年 12月 11日 (月)
デリー JAPANESE LANGUAGE COURSE & CLASSES NIHONKAI

デリーにある日本語学校。前回に続き2回目の訪問。



今回、の訪問はMOUを4校取り交わすことができた。

インドで日本語学校を運営することについての話や、これまでの送り出した生徒の話なども詳しく教えて頂きました。日本のインドの学生受け入れ態勢について、ベジタリアンのへの理解や文化の違いを尊重する。など課題を感じる。



プロフィール

所属 学校法人せとうち 日本 IT ビジネスカレッジ

氏名 スベディ ナビン

ネパール生まれ

2013年 来日 ニルス日本語学校入学

2015年 ニルス日本語学校卒業

2016年 九州英数学館国際言語学院 卒業

2018年 福岡工業大学短期大学部卒業

2018年 学校法人 東アジア学園 日本語学学校 入社

2019年 学校法人せとうち 日本 IT ビジネスカレッジ 入社 現在に至る

2021年 NPO 法人国際協力研究所・岡山 (NPO ICOI) 理事 現職と兼務

2024年1月19日

インド視察報告「India visit report」

日本 IT ビジネスカレッジ
Subedi Nabin (スベデイ ナビン)

During this visit, we were able to exchange MOUs with four college.

Period: December 6 (Wednesday) - December 14 (Thursday) 2023

① Visit destination: Thursday, December 7, 2023

Delhi Japanese Language School/ Furusawa Japanese Academy

<https://furusawaacademy.com>

A Japanese language school that provides training and necessary skills to pass the Japanese Language Proficiency Test (JLPT), and in addition to Japanese language training, you can also learn about Japanese manners, culture, business etiquette, and corporate etiquette. A Japanese woman runs it as the owner. As you can tell by looking at the smiles on the students' faces, they care about their students.

② Visit destination: Friday, December 8, 2023

Parul University

<https://paruluniversity.ac.in>

Research-oriented academic/international research cooperation. DSIR certification for industrial research. A university with cutting-edge research facilities. Including comprehensive universities. An exchange to begin future discussions with Okayama Prefecture. There are 53,000 students, and about 250 are in the Japanese language class. They will be welcomed with flower leis and receive speeches from students looking forward to visiting Japan.

As of 2023, Parul University has MOUs with 80 countries worldwide. Japan has yet to conclude. We are delighted to have you come from Japan," said the woman in charge of university international affairs

③ **Destination: Friday, December 8, 2023**

Vadodara Desportz- Institute Of Sport Management

<https://desportz.org/>

Desport Management Institute is a premier academic institute in Vadodara, Gujarat, India, that trains athletes, sports and business professionals, and sports management. Students can acquire basic and advanced theories and techniques related to sports, such as tourism, law, psychology, rehabilitation, and nutrition. It is an Indian startup company.

③ **Destination: Sunday, December 10, 2023**

Visit to Mr. Sameer's attorney's office in Pune

A visit to the lawyer's office by Mr. Sameer, who arranged this visit to Pune.

④ **Destination: Monday, December 11, 2023**

Pune MIT-ADT University

<https://mituniversity.ac.in/>

- Exchanging M O U

④ **Destination: December 11, 2023**

Pune— Indo-Japan Business Council

<https://www.ijbc.org/>

⑤ **Destination: Tuesday, December 12, 2023**

FUEL Skill-Tech & Entrepreneurship University

<https://fuelfornation.com>

Mr. Ketan Deshpande, who founded FUEL Skill-Tech & Entrepreneurship University, was honored by Prime Minister Narendra Modi and is also a Fellow of the Judge Business School at the University of Cambridge, UK. Through impactful CSR partnerships, FUEL empowers underprivileged youth across India, positively impacting the lives of 1.1 million people.

⑥ **Visit destination: Monday, December 11, 2023**

DELHI JAPANESE LANGUAGE COURSE & CLASSES NIHONKAI

<https://www.japaneselanguage.>

インド向け動画制作

令和4年度のインド視察で訪問した日本語学校「Silver Peak Global banglore」代表を招き、インド向け動画を制作

YouTube

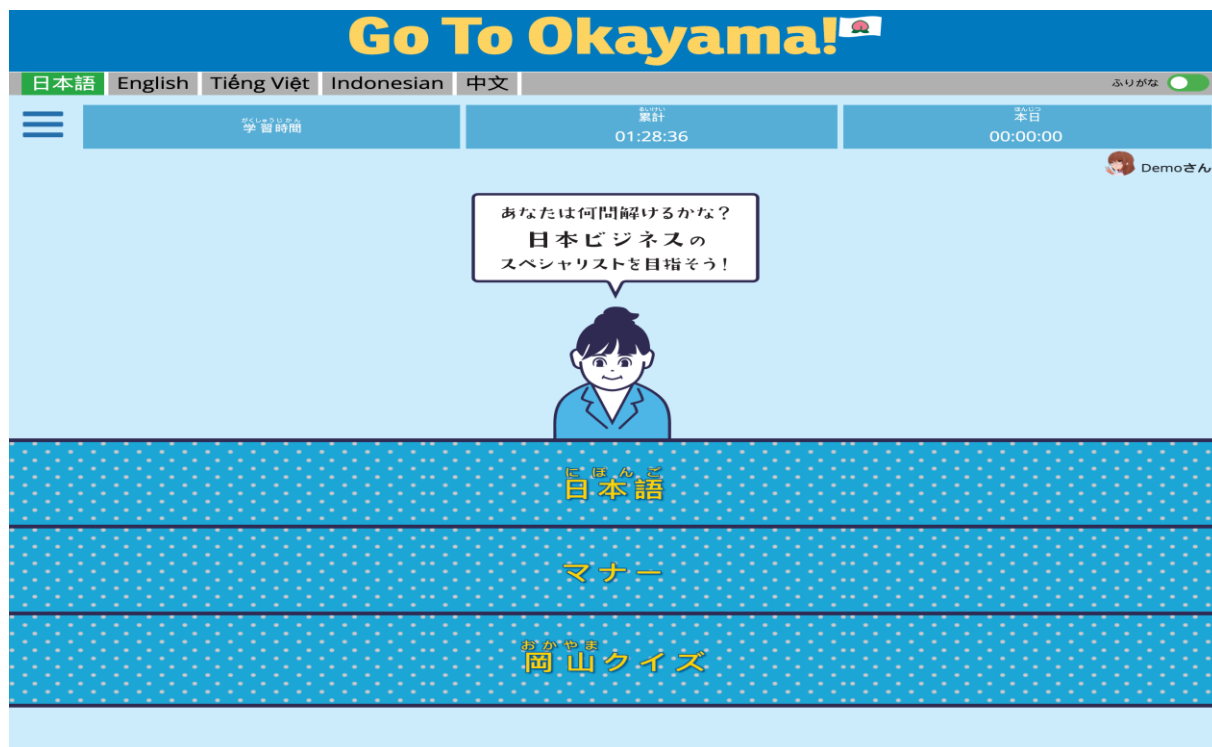
<https://www.youtube.com/watch?v=9zrol899Ek8>



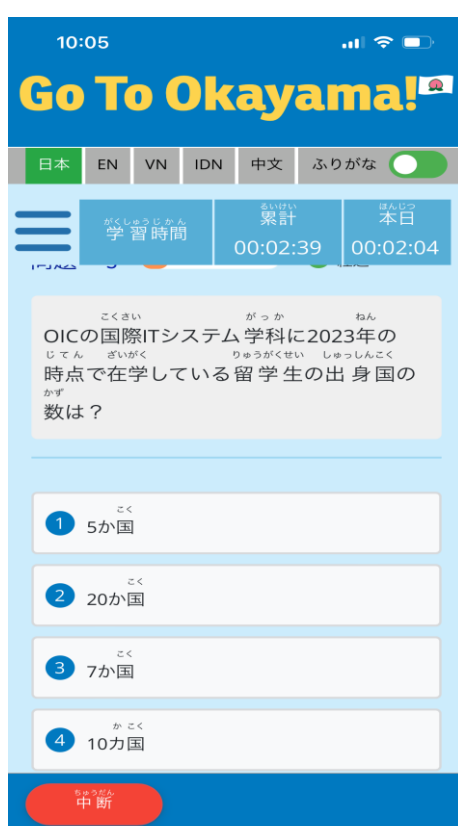
5,2 オンライン学習コンテンツの新機能開発

成果物

中国語・インドネシア語追加。
日本語N2,N3追加で留学後の学習もサポート



岡山の学校クイズや、日本語の学習がさらに充実



学習カレンダー



今日の学習履歴

日本語 N5	学習回数: テスト: 正解: 0/0 問
日本語 N4	学習回数: テスト: 正解: 0/0 問
生活マナー H5	学習回数: テスト: 正解: 0/0 問
生活マナー H4	学習回数: テスト: 正解: 0/0 問
日本語 N3	学習回数: テスト: 正解: 0/0 問
日本語 N2	学習回数: テスト: 正解: 0/0 問
ビジネスマナー H3	学習回数: テスト: 正解: 0/0 問
ビジネスマナー H2	学習回数: テスト: 正解: 0/0 問
岡山クイズ	学習回数: テスト: 正解: 0/0 問
岡山の学校クイズ	学習回数: テスト: 正解: 0/0 問

全学習履歴

日本語 N5	学習回数: 1 テスト: 1 正解: 0/10 問
日本語 N4	学習回数: テスト: 正解: 0/0 問
生活マナー H5	学習回数: テスト: 正解: 0/0 問
生活マナー H4	学習回数: テスト: 正解: 0/0 問
日本語 N3	学習回数: テスト: 正解: 0/0 問
日本語 N2	学習回数: テスト: 正解: 0/0 問
ビジネスマナー H3	学習回数: 1 テスト: 1 正解: 0/10 問
ビジネスマナー H2	学習回数: テスト: 正解: 0/0 問
岡山クイズ	学習回数: テスト: 9 正解: 80/90 問
岡山の学校クイズ	学習回数: 1 テスト: 1 正解: 7/10 問

【追加項目】

- ・ 日本語
 - L 日本語N3
 - L 日本語N2

- ・ マナー
 - L マナーM3
 - L マナーM2

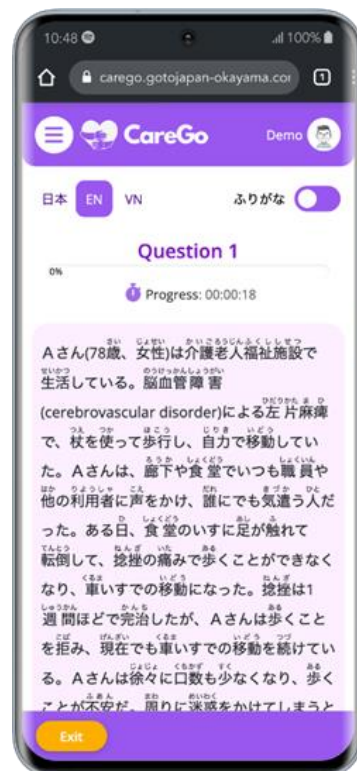
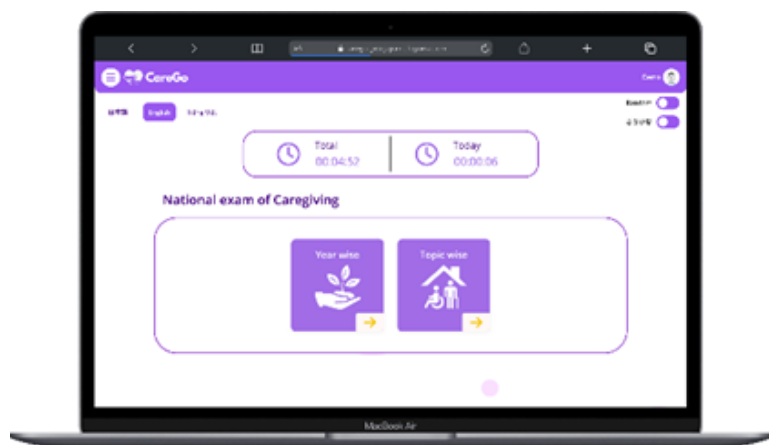
- ・ 岡山クイズ
 - L 岡山の学校クイズ

5,2 オンライン学習コンテンツの新機能開発

成果物

B, 介護福祉分野の多言語アプリ開発

本事業の取組分野の一つである介護福祉分野において人材の確保と教育の質の向上のため、新たに介護福祉士試験過去問題解説含む介護の問題が解けるアプリの開発



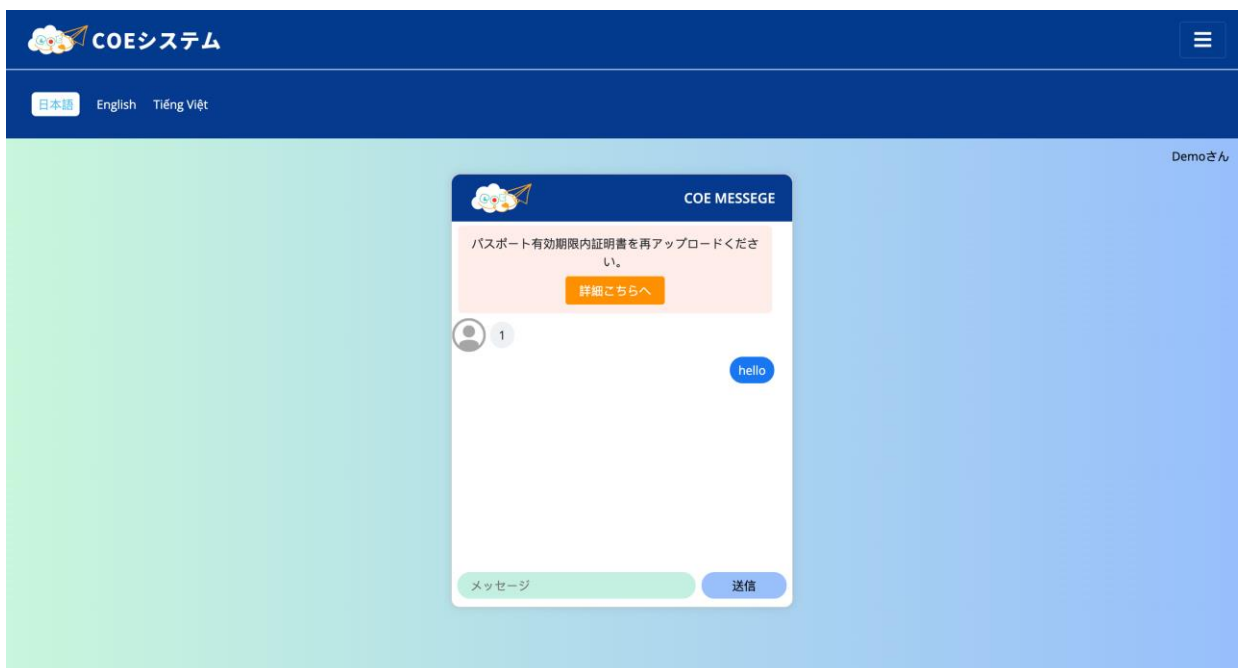
5,3 在留資格認定証明書の申請手続き及び在籍管理システムの新機能

成果物

在留資格認定証明書の申請手続き



ビザ取得に関する添付ファイルのアップロード



COEシステム

English / English Ver. Lat-Thun-Master-10

ユーザー情報

メールアドレス: mary10@japan.kogai

個人情報

氏名: 梅田 エンペイ
 生年月日: 19961228
 性別: Lat-Thun-Master
 国籍: 女性
 出生地: Kagayama
 職業: 学生
 職業の種類: 1125 Saugajalat work, Kagayama, Saugaj State, Myanmar
 住所住所: 岡山県瀬戸内市瀬戸大島山崎1-9-0-2
 電話番号:
 携帯電話番号: 0870388765

パスポート情報

パスポート番号: 48539502U
 有効期限: 2025-03-21
 入国目的: 留学

入国情報

滞在予定期間: 1年
 入国予定日: 20240514
 上陸予定地: 岡山空港
 滞在予定: 岡山
 滞在予定予定地: Okuyama

入出履歴

過去の出入国回数: 0回
 過去の査証官検定試験合格回数(1年以内): 0回
 査証官検定試験合格回数(1年以内)の備考:
 過去の検閲又は検閲センターによる出国の回数: 0回
 出国: 0回 検閲の回数: 20240103
 検閲履歴及び検閲者: 0回
 1. 検閲: 査
 氏名: Francis 国籍: インド
 生年月日: 国籍: インド
 検閲者名: 検閲者名: SEMMULEN
 検閲センター番号: 検閲者名: SEMMULEN
 検閲者名検定番号: 01796J00E

通学先

名称: 岡山日本語学校
 所在地: 岡山県岡山市北区東区170-1
 電話番号: 030-8388-5993

最終学歴

進学年度: 12
 卒業年度: 卒業
 学校種別: 大学
 学校名: LCCM
 卒業年月日:

経歴

経歴	経歴	経歴
2024/4	2024/4	2024

試験

試験名: JPT
 試験科目: 総合
 試験内容: Japanese Language Proficiency Test
 検定機関及び検定: 20190205 - 20240109

日本語学習歴

日本語学習開始年度:
 検定: -

滞在費の支弁方法等

(1) 滞在方法及び月平均費用

本人負担:
 滞学費: 月別滞学費支弁額: 600,000円
 その他: 月別滞学費支弁額

(2) 経費支弁者

氏名: Anthony
 住所: Kagayama, Saugaj State
 電話番号: +959402124
 職業: 会社員
 勤務先電話番号: 08-987-087
 年収円: 250,000,000円

(3) 申請人との関係
 申請人との関係:
 (4) 留学先学校機関
 留学先学校機関:

滞学費の予定: 日本での収入










本邦における申請人の監護人

氏名:
 本人との関係:
 住所:
 電話番号:
 携帯電話番号:

申請人、法定代理人、代理人

氏名:
 本人との関係:
 住所:
 電話番号:
 携帯電話番号:

- L 個人情報
- L パスポート情報
- L 入国情報
- L 入出履歴
- L 通学先
- L 最終学歴
- L 経歴
- L 試験
- L 日本語学習歴
- L 滞在費の支弁方法等
- L 本邦における申請人の監護人
- L 申請人、法定代理人、代理人、

申込書類	
パスポート有効期限内証明書	
高校卒業証明書、専門学校卒業証明書、大学卒業証明書	
高校卒業成績証明書、専門学校卒業成績証明書、大学卒業成績証明書または中学校卒業成績証明書	
本人確認書の写し	
住民票の写し	
6ヶ月以内の写真	
日本語能力試験（JLPT）またはNAT-TESTの合格証明書	
日本での滞在資格証明書	ダウンロードファイル
保証人に関する書類	ダウンロードファイル
財政支援の誓約書	ダウンロードファイル
保証人の本人確認書	ダウンロードファイル
入学願書（本校規定様式）	ダウンロードファイル
留学理由書	ダウンロードファイル
在校（休校）証明書の原本	
在職（経歴）証明書の原本	ダウンロードファイル
経費支弁人の在職証明書の原本又は自営登録者の写し	ダウンロードファイル
経費支弁人の年収証明書の原本	ダウンロードファイル
銀行残高証明書の原本	
その他	ダウンロードファイル

└ パスポート有効期限内証明書

└ 各卒業証明書

└ 各成績証明書

└ 本人証明書の写し

└ 住民票の写し

└ 6ヶ月以内の写真

└ 日本語能力試験（JLPT）又、NAT-TESTの合格証明書

└ 日本での滞在資格証明書

└ 保証人に関する書類

└ 財政支援の誓約書

└ 保証人の本人確認書

└ 入学願書

└ 留学理由書

└ 在校(休校)証明書の原本

└ 在職(経歴)証明書の原本

└ 経費支弁人の在職証明書の原本又は自営登録者の写し

└ 経費支弁人の年収証明書の原本

└ 銀行残高証明書の原本

└ その他

成果物

在籍管理システムの新機能開発
 学生情報登録をすると学生アカウントが自動発行
 新しい学生の追加、既存の学生情報の編集と削除
 が可能に。



Dashboard Summary:

- 出席率 (Attendance Rate): 0.0%
- 学費納付率 (Tuition Payment Rate): 14.3%
- 在学期間満了日 3か月未満 (Days until end of term: less than 3 months)
- 直近1週間 出席率注意 (Attendance attention in the last 1 week)
- 学費未納者 (Students with unpaid tuition)

NO	学籍番号	ニックネーム	国籍	コース	クラス	状態
1	1			demo class		未納金額: 1,876,000 JPY
2	2			demo class		未納金額: 847,000 JPY

学生一覧 (Student List)

No	学籍番号	氏名	ニックネーム	国籍	性別	在学期間満了日	状態	コース・クラス	出席率	単位	出身校	未入金
1	1	田中 玉田 TANAKA TAMADA		アゼルバイジャン	男性		在学中	demo class	0.0%			未入金
2	2	HANATA		英国	女性		在学中	demo class	0.0%			未入金
3	C-1	AIDAN MUHAMMAD DIARMAWAN		インドネシア	男性		在学中	demo class	0.0%			
4	IB240001	Htbo		アイスランド	男性		在学中		0.0%			

学生出欠状況一覧 (Student Absence Status)

No	成績出力	学籍番号	氏名	年度	学期	出席時間	欠席時間	合計出席	合計欠席	成績判定	科目別成績登録	成績確定
1	(E)	1	TANAKA TAMADA	A	00	00						
2	(E)	2	HANATA	A	00	00						

成果物

在籍管理システム学生版
学生アクセス情報の追加
出席率や、取得単位の確認ができるように。



在籍管理システム 学生基本情報 出席・成績 時間割 出力依頼フォーム パスワードのリセット Demoさん 02月20日(木)

学生基本情報

学籍番号	Demo01	在学生			
名前	デモ DEMO Demo				
国籍 言語	アルゼンチン	性別	男性	国籍	取組
学籍番号コース	外国語学科3期生	生年月日	1996-11-27		
学籍番号	C5000009	発行年月日		有効期限	2028-07-20
最終学年		卒業後の予定			
出身校	長船日本語学校	仲介業者			
入学年月日		入学年月日	2020-04-01	卒業(終了)年月日	
授業開始日		最終出席日			
修了予定日	2022-09-20	履修理由		離別年月日	
休学開始日	2021-04-13	休学終了日	2021-09-26		
持病					
減免区分					

在籍管理システム 学生基本情報 出席・成績 時間割 出力依頼フォーム パスワードのリセット Demoさん 02月20日(木)

Demo01 デモ

総出席率 (2024-02-19)

取得単位数 / 総単位
2024-02-19 82 / 114

94.9%

- 93.1% (2020年度)
- 96% (2021年度)
- 96.6% (2022年度)

学費情報

未入金金額	218,000円	請求済	1,580,000円	入金済	1,362,000円
請求金額(予定含む)	1,580,000円	減免金額	0円		

成果物

出席、成績一覧の確認

在籍管理システム

学生基本情報

出席・成績

時間割

出力依頼フォーム

パスワードのリセット

Demoさん

02月20日(火)

学生出欠・成績

出席率 93.1% (2020年度) 94.9% (2021年度) 98.6% (2022年度)

取得単位数 82

出欠情報

すべて表示

年月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
2022-07 出席時間 0/0 出席率 0.0%																															
2022-06 出席時間 50/51 出席率 98.0%																															
2022-05 出席時間 52/53 出席率 98.1%																															
2022-04 出席時間 40/40 出席率 100.0%																															
2022-02 出席時間 31/32 出席率 96.9%																															
2022-01 出席時間 42/45 出席率 93.3%																															

成績情報

2021年度後期

2020年度後期

2020年度前期

科目	年度	状態	科目名	出席率	単位数	成績	取得単位数	試験日	担当
2 国際 選択B	2021年度後期	確定	コミュニケーション論 II (選)	83.3%	166	A	2	2022-02-24	山中 孝志
外国語学科2年	2021年度後期	確定	多文化コミュニケーション	100.0%		A	2	2022-02-28	家守 里佳
外国語学科2年	2021年度後期	確定	通訳案内士 I	100.0%		B	2	2022-03-04	中村 香織里
外国語学科2年	2021年度後期	確定	ビジネスマナー IV	100.0%	100	A	2	小テスト-1	2022-03-08 スベディ ナビン
外国語学科2年	2021年度後期	確定	就職への道	100.0%		C	2	2022-02-28	家守 里佳
外国語学科2年	2021年度後期	確定	ホテル実践VI (接遇)	100.0%		A	2	2022-03-08	スベディ ナビン
外国語学科2年	2021年度後期	確定	経理基礎III	94.4%	91	S	2	2022-02-28	服部 かおり
外国語学科2年	2021年度後期	確定	国語 II	94.1%		B	2	2022-03-08	川島 ゆか
外国語学科2年	2021年度後期	確定	貿易実務 II	100.0%		B	2	2022-02-28	遠藤 豪
外国語学科2年	2021年度後期	確定	リーディングII	94.4%	59	C	2	2022-03-04	中村 香織里
外国語学科2年	2021年度後期	確定	マーケティング II	92.3%		B	2	2022-02-28	遠藤 豪
外国語学科2年	2021年度後期	確定	リスニングII	100.0%	215	C	2	2022-03-04	中村 香織里
外国語学科2年	2021年度後期	確定	漢字演習 II	94.1%		B	2	2022-03-08	川島 ゆか
外国語学科2年	2021年度後期	確定	ビジネスレター II	100.0%	62	A	2	再試験	2022-02-17 Bit
外国語学科2年	2021年度後期	確定	ライティングIII	100.0%	79	B	2	2022-03-04	中村 香織里

5,4 岡山県留学生就職マッチングシステムの新機能開発

JOBS IN OKAYAMA

🏠 学生・
求職者はこちら

552

🏠 会社・
求人者はこちら

476

岡山県立大学各種学校振興会

成果物

アルバイト情報の追加
求人者情報から履歴書の作成

求人一覧・検索

検索条件: 岡山県, 日本語能力, 職種: 営業・事務・販売

業種	岡山県	募集状況
<p>営業、事務、販売</p> <p>想定年収: 200万円以上300万円未満 更新日: 2023/02/02</p> <p>在籍資格: 日本人員 (技術・人文知識・国際業務) 日本語能力: N2以上</p> <p>雇用形態: 契約社員 賞与: あり</p>		募集中
<p>教育、専門職、通訳、翻訳</p> <p>想定年収: 200万円以上300万円未満 更新日: 2023/02/01</p> <p>在籍資格: 日本人員 (技術・人文知識・国際業務) 日本語能力: N2以上</p> <p>雇用形態: 正社員、契約社員、アルバイト 賞与: あり</p>		募集中
<p>製造、工場、倉庫、クリエイ...</p> <p>想定年収: 300万円以上400万円未満 更新日: 2023/02/01</p> <p>在籍資格: 学生 日本語能力: N3以上</p> <p>雇用形態: 正社員、契約社員、アルバイト、派遣社員 賞与: あり</p>		募集中
<p>電気、電子、機械技術者</p> <p>想定年収: 300万円以上400万円未満 更新日: 2023/02/01</p> <p>在籍資格: 日本人員 (技術・人文知識・国際業務)、特定技能、実務者 日本語能力: N3以上</p> <p>雇用形態: 正社員、契約社員、アルバイト、派遣社員 賞与: あり</p>		募集中
<p>IT、エンジニア</p> <p>想定年収: 200万円以上300万円未満 更新日: 2023/05/25</p> <p>在籍資格: 日本人員 (技術・人文知識・国際業務) 日本語能力: N3以上</p> <p>雇用形態: 正社員 賞与: あり</p>		募集終了
<p>IT、エンジニア</p> <p>想定年収: 300万円以上400万円未満 更新日: 2023/07/05</p> <p>在籍資格: 日本人員 (技術・人文知識・国際業務)、特定技能、学生 日本語能力: N2以上</p> <p>雇用形態: 正社員 賞与: 6ヶ月以上</p>	東京都、岡山県	募集終了
<p>IT、エンジニア</p> <p>想定年収: 200万円以上300万円未満 更新日: 2024/01/31</p> <p>在籍資格: 日本人員 (技術・人文知識・国際業務)、学生、実務者 日本語能力: N2以上</p> <p>雇用形態: 正社員 賞与: あり</p>	岡山県	募集中
<p>医療、介護、福祉</p> <p>想定年収: 300万円以上400万円未満</p> <p>在籍資格: 介護 日本語能力: N3以上</p> <p>雇用形態: 正社員 賞与: あり</p>	岡山県	募集中

求職者 (学生)

求職者番号: IS232311_1106

写真:

名前: Demo
名前(フリガナ): デモ
メールアドレス: demo@gmail.com
生年月日: 1999/11/07
性別: 女
国籍: 日本
郵便番号: 300-3432
住所 (都道府県): 鳥取県
住所 (詳細):
電話番号: -1616
在籍資格: 日本人員 (技術・人文知識・国際業務)
在籍機関:
SNS情報 (Facebook):
日本語能力 (JLPT): 2023年12月 N1
TOEIC: 2023年8月 800点以上900未満
語学力:
資格及びスキル:
免許 (自分に開く能力): 継続力がある、粘り強さがある
免許 (他人に開く能力): 英語に上手
免許 (課題に対する力): 物事の順番を踏まえる力がある、企画力がある
短所 (自分に開く能力): 謙虚である
短所 (他人に開く能力): 他人に優しい
短所 (課題に対する力): 大雑把
趣味: アウトドア
長所/得意な得意: 読書
希望職種: 翻訳翻訳、通訳、インターネット翻訳サービス業
希望職種: IT、エンジニア
希望勤務地: 日本全国
就活希望日:
希望年収:
自己PR: こんにちは、私は外国人で、日本の文化と歴史に深い興味を持っています。私は海外から日本に渡り、日本語を学びながら日本のイベントや祭りにも参加しています。日本の素晴らしい伝統文化や食文化に魅了されています。その魅力が世界に広めたいと考えています。私は日本語能力試験N1レベルをクリアし、日常会話や読解が可能です。また、日本の歴史や文化に関する書物も読んでおり、幅広い分野での学習をしています。さらに深く学びたいと考えています。機会があれば、日本の伝統工芸品を学ぶワークショップに参加し、手紙の達人から一筆に美しい手紙を書くことを学びたいです。また、海外で働く日本の企業を探し、多くの日本人と交流を始めてみたいです。

学校 (名称)	鳥取県立高校
学校名	鳥取県立高校
入学期間	2019/03/12 ~ 2022/04/12
状態	卒業
国籍	日本
職業 (1項目)	企業員
業種	英語
就業期間	-
状態	-
職業	英語

5.5 3Dメタバースを活用した説明会の開催

1,岡山留学説明会

岡山留学は魅力いっぱい！オンライン交流会

【3Dメタバース】使用

A, 海外から日本の日本語学校へ

12月20日（水）15:00～16:30実施

参加人数：最多参加人数17名+海外現地参加者約30名

B, 国内の日本語学校から専門学校へ

11月8日（水）15:00～16:30実施

参加人数：最多参加人数47名+日本語学校約30名



【メタバース事例紹介に掲載されました】

<https://v-expo.jp/event/report/20231108>



参加者同士の
コミュニケーションUPを狙う

岡山県の魅力を伝える
留学生・
日本への留学希望者向け
オンライン交流会

一般社団法人 岡山県専修学校
各種学校振興会様
事例紹介

2, 岡山就職説明会を通じた就職支援体制の強化

留学生が企業と出会うジョブフェア

令和6年1月31日(水) 16:00~17:30実施

場所: 岡山国際交流センターにて開催

《参加企業: 16社》

中谷興運株式会社/運輸業、介護業

株式会社湯郷グランドホテル/宿泊業

株式会社日本旅行/観光業

株式会社WHOVAL/アパレル

株式会社khronos/IT

株式会社オーリス/ソフトウェア開発

インフォポート合同会社/IT

サトミ紙工株式会社/製造業

株式会社ファーストディレクションTAKEKICHI/イベント業

株式会社ライズオカヤマ/教育ICT販売、保守サポート

株式会社山陽メディアサプライズ/携帯電話業界

株式会社キクトコ/教育

株式会社システムズナカシマ/IT

株式会社ELN/国際マーケティング、コンサルタント

日本ITシステム株式会社/IT

アジア人材サービス株式会社/職業紹介業

《求職者: 40名》

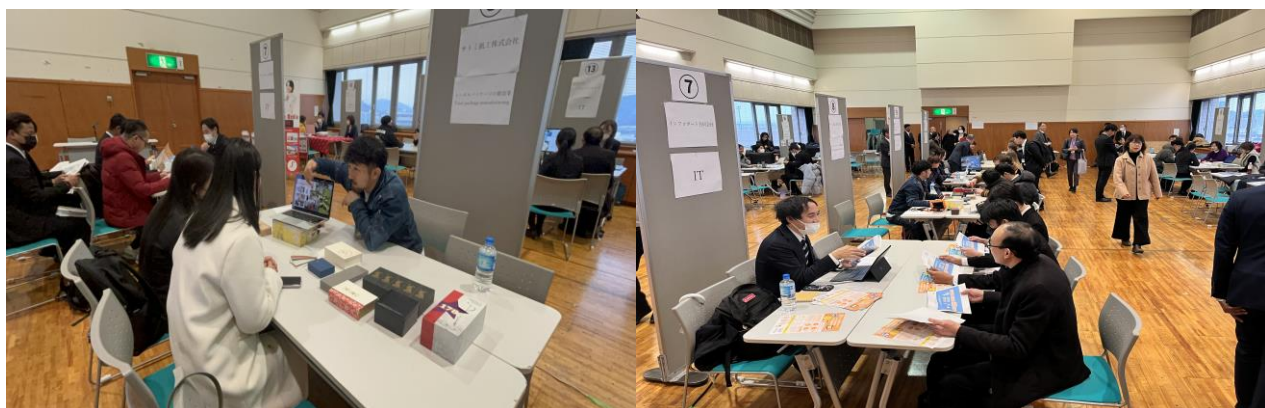
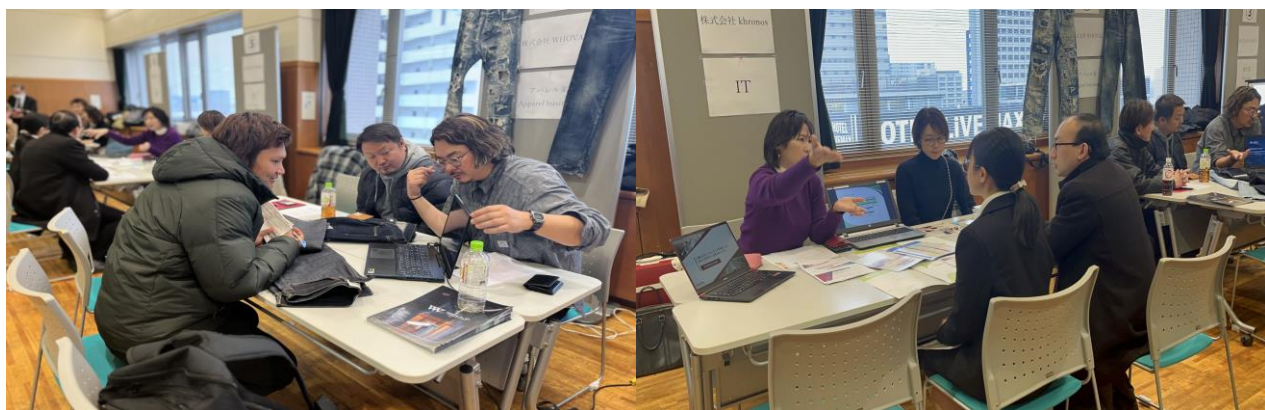
《行政書士1名》

※在留資格申請についての専門家である行政書士にご参加いただき、就労ビザ相談ブースを設置した。

KPI項目		1カ年目 (R4年度)	2カ年目 (R5年度)	3カ年目 (R6年度)
本事業によつての 就職マッチング数	目標値	5人	10人	—
	実績値	3人	13人	—
	達成率	60%	130%	—

就職説明会開催後、留学生と企業の間での面接の確定、連絡をとりあう、等の人数も含む。

留学生が企業と出会えるジョブフェア



Go To Okayama!
 りゅうがくせい はぎょう であ
留学生が企業と出会える
ジョブフェア 16社 参加

2024年
1月31日(Wed)
 16:00 - 17:30

岡山国際交流センター8階イベントホール
 (岡山県岡山市北区大井町1-1-1)

お申込みはこちらから>>>
<https://forms.gle/soKPY9Uoc0E1X5889>

【主催】一般社団法人 岡山県専門学校各種学校振興会
 文部科学省「専修学校留学生の学びの支援推進事業」
 【後援】岡山市、岡山県商工会連合会、岡山商工会連所、食教商工会連所

アンケート

学生の方はコチラ



学校進学担当の方はコチラ



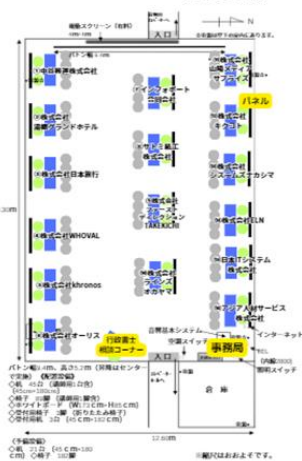
企業の方はコチラ



Jobs in Okayama



8階 イベントホール配置図
 (申し込み順)



【岡山県専修学校多言語PR動画】

- 委員会の中で多言語で外国人に向けて、岡山県の魅力、専修学校の魅力をPRする動画の制作を実施することを決め、制作した。
- 今年度は、各専修学校の教員や卒業後の就職の様子を盛り込み、先輩の就職成功例を認知してもらい魅力を感じてもらえる内容にしている。実際に各学校に在籍する教職員や卒業生、企業の方の生の声が聴け、更にすべての言葉を多言語（日本語、英語）に翻訳しており、海外からの直接視聴を促し理解度を向上させている。



YouTube

<https://www.youtube.com/watch?v=EUaOjvJBXC4>

【専修学校委託事業成果PR動画】

- 取組内容や成果について、文部科学省からの発信を強化し、それらの周知、普及を図り、専門学校等における活用を促進する目的などで動画を制作した。
- 事業の概要、背景、目的の説明や取組内容や得られた成果を、実際に開催したセミナー参加者や講演者の様子、オンライン画面上での交流映像などを交えて解説した。



みなさんこんにちは。岡山県の専修学校の協会では、外国人



ここ数年いろんな活動をしてきました。各会員の努力により、現在では岡山県の商工会議所

YouTube

<https://www.youtube.com/watch?v=-RA5wY1Jid0>

KPI項目		1カ年目 (R4年度)	2カ年目 (R5年度)	3カ年目 (R6年度)
本事業で制作する 動画の閲覧人数	目標値	1000人	3000人	4000人
	実績値	231人	1849人	—
	達成率	23%	62%	—

動画制作について、年度末の就職説明会後に編集を行い、成果物を制作したため目標の達成は未達。今年度は、昨年度制作した動画閲覧数を加えて、総合値としてKPI実績を報告する。

- 昨年度制作した多言語ホームページの継続。

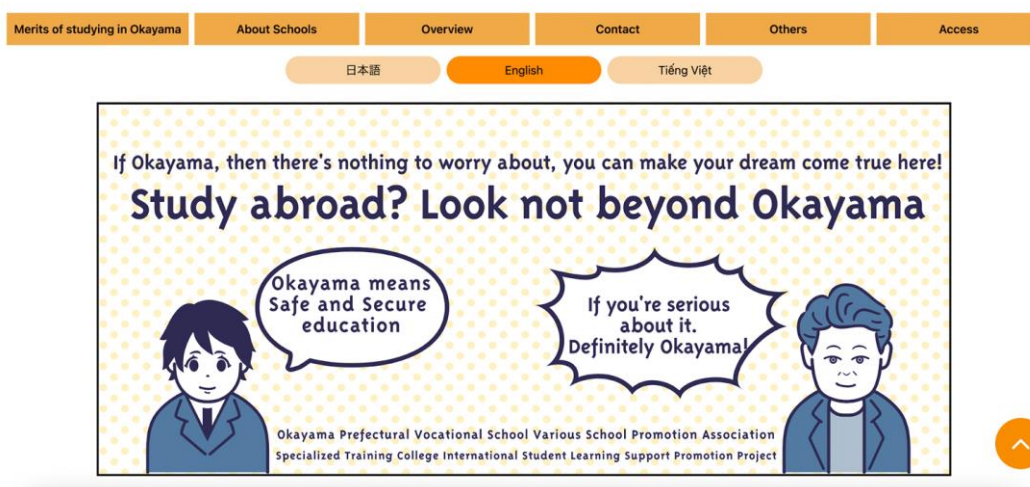
1-1.URL

サイト名	サイトURL
日本語	https://gotojapan-okayama.com/
英語	https://gotojapan-okayama.com/en_index.php#
ベトナム語	https://gotojapan-okayama.com/viet-index.php#

1-2.サイトイメージ



日本語サイト



英語サイト

Tỉnh Okayama, Nơi hỗ trợ hoàn hảo! Nơi học tập lý tưởng!
Nếu du học Nhật Bản, hãy đến Okayama!

Yên tâm du học ở một tỉnh an toàn Okayama!

Nơi lý tưởng du học, Nhất định là Okayama!

Hội khuyến học các trường cao đẳng chuyên ngành tỉnh Okayama
 Cao đẳng đào tạo chuyên ngành, hỗ trợ học tập cho sinh viên quốc tế

ベトナム語サイト

1-3.コンテンツ

日本語 学習アプリ | 介護 学習アプリ | セミナー | アンケート | 就職 活動 | FACEBOOK

岡山県留学の魅力

Copyright: 「岡山県観光連盟提供」



岡山留学の魅力とは?

気候はとても暖かく、年間を通じて雨が少ないことから「晴れの国」と呼ばれます。

アーバンライフを楽しめますし、家賃や生活物価が都会より安い！
 岡山駅周辺、奉還町商店街、岡山シティミュージアム周辺等、店が多く、ショッピングもでき、通学、通勤しやすいです。当然、アルバイトも多い。東京や大阪にも直結する新幹線も通っているので、交通が便利です。駅チカのイオン等大型商業施設があり、街やマンションの開発もどんどん進んでいきます。

大自然も魅力です。
 春は、桜が咲き誇り、桃色に染まります。
 夏は日本のエーゲ海と呼ばれる牛窓を含む瀬戸内海の大自然の中で海水浴を楽しめます。また、高原でBBQもできます。
 秋は紅葉の名所を巡り、倉敷の大原美術館で芸術鑑賞もできます。

冬は蒜山等スキー場が整っており、終われば、温泉で休めます。

一年を通じて、和やかな自然を満喫しながら、しかも賑やかで安価にアーバンライフが送れるのは、岡山県の大きな魅力といえます。



鉄オタ
天国!



嗚呼
桃太郎...



世界一長い
鉄道道路併用橋
瀬戸大橋



就職説明会含む3回セミナーの紹介

3つの事業

1. 岡山留学は魅力いっぱい！オンライン交流会（国内向け） 11月8日(水) 15時～16時半

国内外の留学生向けに岡山県への留学、進学について、広報する企画です。

参加申込み (終了)

2. 岡山留学は魅力いっぱい！オンライン交流会（海外向け） 12月20日(水) 15時～16時半

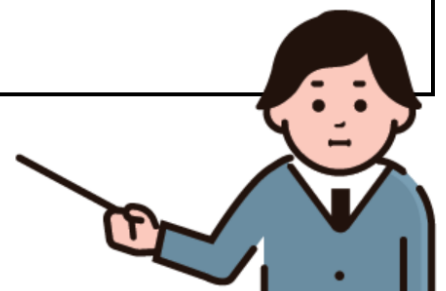
国内外の留学生向けに岡山県への留学、進学について、広報する企画です。

参加申込み (終了)

3. 留学生が企業と出会うジョブフェアin Okayama 1月31日 (水) 16時～17時30分

* 岡山国際交流センターにて、岡山県企業と岡山県に在籍する留学生が一堂に会し、マッチングを促します。

参加申込み



岡山県の学校紹介



岡山外語学院



中国デザイン専門学校



倉敷ファッションカレッジ

<https://www.fashion.ac.jp>



岡山情報ビジネス学院

<https://www.oic-ok.ac.jp>



岡山ビジネスカレッジ

<https://www.obcnet.ac.jp>



岡山商科大学専門学校

<https://osu-s.ac.jp>



日本ITビジネスカレッジ
<http://setouchicollege.com>



長船日本語学院

事業概要

一般社団法人 岡山県専修学校各種学校振興会加盟の専修学校等は、留学生を受け入れるため、多方面で留学生受け入れの機運を醸成し、就労支援を行う。特に、介護及び観光等分野の企業に対して、専修学校でITを学ぶ留学生を輩出し、岡山県にとって、国際的な人材を活用したDX化を推進する契機とする。ワンストップ岡山モデルを構築していく。

そこで、海外在住の外国人に対して、オーストラリア、韓国、ドイツ等、世界的な留学人気国ではなく、是非日本、岡山県へ留学したいと思える動機付けを行い、岡山県での留学生生活と就職をスムーズに送ることができるように支援することが目的として、本事業を遂行していく。

具体的な事業として、

1. 仮想空間を活用した、日本（岡山）留学の動機づけを行い、
2. 魅力的な岡山留学を動画で演出し、
3. 就職説明会で、留学生と岡山企業のマッチングを実施する。

KPI項目		1カ年目 (R4年度)	2カ年目 (R5年度)	3カ年目 (R6年度)
多言語ウェブサイト閲覧人数	目標値	1000人	3000人	4000人
	実績値	2200人	3680人	—
	達成率	110%	123人	—

●インド、ベトナム、ネパールの各国において、影響力の高いFBを選び、情報の発信を行い、WEBサイトへのアクセスも増加させる。

来年度以降も継続する課題

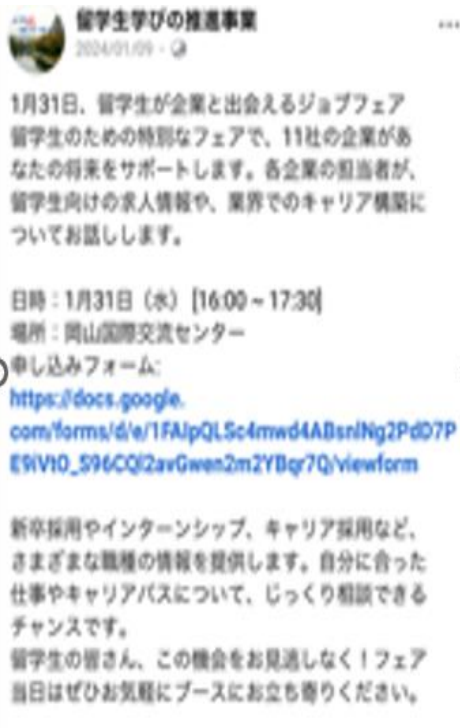
◎日本への留学希望者において、岡山県は留学先、就労先として認知度や興味度が低い。

◎さらに、日本のIT企業の事業内容や専修学校等でのIT分野のカリキュラムにおいて、知識や理解度が低い。

◎留学生の先輩たちの卒業後の岡山企業における就労状況は、現地にいる来日前の留学希望者たちには、十分に伝わっていない。

◎世界的な災禍、あるいは日本における甚大な自然災害等が発生した非常時において、留学生のとるべき行動や留学生向けの支援情報、オンライン授業への参加が可能な情報などを迅速に伝えるツールが、現時点、岡山県には存在しない。





令和5年度 「専修学校留学生の学びの支援推進事業」

仮想空間とICTを活用した来日・学修・就職の
岡山県ワンストップ留学生支援体制設備事業

**「ヒアリング調査・アンケート調査集計・分析業務」
実績報告書**

アンケート（ヒアリング）での調査結果について

「はじめ」にも述べたように2008年に掲げた「留学生30万人計画」は、2019年に達成し、それにより「入り口」では成功したといえる。しかし留学生の「就職」の状況は、日本人学生に比べて「就職率」は日本人学生と比べることができないほど低いと言える。「外国人留学生の日本国内での就職を3割から5割に向上させることを目指す」（「日本再興戦略2016」）としている。「留学生就職促進教育プログラム認定制度」を打ち出し、大学に在籍する留学生の就職支援を強化してきている。このように大学における留学生の就職支援プログラムは充実されつつある一方、専門学校における就職、さらに言えば、留学生を如何にして地元で就職させるかということを考え、留学生の就職希望業種、企業が外国人社員に期待する日本語能力、その期待される日本語能力の専門学校での日本語教育支援等はどのようなされているのか等それぞれ問題意識のもと、課題と問題の所在を明らかにしていくための前提作業として以下のアンケート調査を行った。

アンケートでは、就職説明会時を利用した調査と一部ヒアリングを主に行った。回答はQRコード等を使用した。また一部においては、本説明会以前でのアンケート回答も含まれている。よって回答者においては、就職説明会のアンケートの回答のないものもある。

アンケートの主な調査項目

先ず現在岡山県内の専門学校での専門課程に留学している学生、または日本語教育課程に在籍している学生の外国人留学生へのアンケート調査の項目は以下である。

1. 留学生個人の属性や日本語学習及び専門分野と就きたい業種について

国籍／在学中の教育機関（日本語学校、専門学校専門課程等）／専門学校等で勉強したい分野・勉強している分野／居住地／日本語学習歴／希望する仕事

2024年度岡山留学生進学説明会（国内）に参加したいか／2024年度岡山留学生進学説明会（海外）に参加したいか／この事業を知ったきっかけ

就職説明会についてのアンケートと一部ヒアリング

就職説明会はどうやって知ったか／就職説明会はどうだったか（回答選択：とてもよい・よい・普通）→それぞれの答えの理由の記述／説明会で興味を持った会社

2. 学校におけるアンケート調査

学校の所在地／設置されている分野、就職を想定したカリキュラムで学べる内容／インターシップの有無とその期間／在籍した（する）留学生の主な国籍／留学生の希望する就職先業種（複数回答可）／日本語教育の有無と科目内容及び週当たりのコマ数

就職説明会についてのアンケートと一部ヒアリング

2024年度岡山留学生進学説明会（国内）に参加を希望するか／2024年度岡山留学生進学説明会（海外）に参加を希望するか／2024年度岡山留学生就職説明会に参加を希望するか／

就職説明会の感想（回答選択：とてもよい・よい・普通）→それぞれの答えの理由の記述

3. 就職説明会参加企業へのアンケートと一部ヒアリング

業種／所在地／外国人の雇用実績の有無と雇用人数及び国籍／今後の外国人の雇用の予定の有無と理由等／外国人の雇用のきっかけ、目的／外国人社員に求める日本語能力

就職説明会についてのアンケートと一部ヒアリング

就職説明会の感想（回答選択：とてもよい・よい・普通・あまりよくない）→それぞれの答えの理由の記述

本日の就職説明会はどのようにして知りましたか（複数回答可）

アンケートの調結果

1. 留学生個人の属性や日本語学習及び専門分野と就きたい業種について

①国籍：ベトナム13 ミャンマー4 中国3 インドネシア3 インド2 スリランカ、ロシア、スイス、ウクライナ、ブラジル、スウェーデン各1 ②在学中の教育機関（日本語学校、専門学校専門課程等）：専門学校28 日本語学校6 大学1 母国の日本語学校1 ③専門学校等で勉強したい分野または勉強している分野（複数回答可）：IT系とビジネス系がともに多数。CAD設計、通信系、マネジメント系。④居住地：岡山県30人 鹿児島県5人 ベトナム1人 ⑤日本語学習歴：2年～3年18人 ⑥希望する仕事（複数回答可）：情報通信関係20人 ホテル宿泊業・レストラン飲食サービス12人 学校、教育、学修支援関係9人 生活関連サービス業7人 卸売業コンビニ小売り等販売関係6人 不動産レンタルリース関係6人 その他1～3人 学校の先生9割近く／2024年度岡山留学生進学説明会（国内）に参加したいか：参加したい9割近く／2024年度岡山留学生進学説明会（海外）に参加したいか：参加したい約6割／この事業を知ったきっかけ：学校関係100%

留学生の国籍については、コロナ禍において、地方都市ではベトナム人学生が激減し、ネパール人学生の増加していることは明らかである。更にミャンマーからの留学生も今後は増加していくのではないと思われる。そこには入管の行政によるCOE交付次第と言える。現在、専門学校や大学においては、このベトナム人学生とネパール人学生の割合の「転換期」になる年度にあると言える。

現在勉強している専攻分野（したい分野）については、留学生の通信情報関係、またIT関係への人気の関係と特定技能における観光宿泊ホテル、レストランへの関心が示されているが、それは一つには技術系とされる通信情報、ITについての学生人の「技術」獲得により就職先の確保が見えてくるという魅力での希望分野であると思われる。大学の留学生とは異なる点で大きいのは、ビジネスマネジメント系分野での就職であり、就職へのハードルが若干高い傾向にあり、国際、人文、技術という中で、「技術・人文・国際業務」の中で人文・国際に関係するとなると、海外進出を目指す企業、または本社（国内）と海外（支社、工場）との橋渡し、交渉等の業務であることから「難易度」が高い分野であり、学生も選択肢のなかでは低いと思われる。また海外から日本語教育機関への入試における面接、または修学理由において、マネジメント、または教育等多様な修学理由を持ちながら、実際日本語教育機関での日本語学習中において、進学希望分野が変わる学生が多数みられる。日本語学習歴については、日本語教育機関及び専門学校での日本語科目就学による結果である。希望する職種については、現在の専門課程での学科専攻を反映していると思われ、**「コンビニ、小売業」**はバイト先で、また**「学校、教育、学修支援」**は日本語教育機関、または専門学校での教職員との接触からであることも予想される希望業種であると思われる。

2. 学校におけるアンケート調査

学校の所在地 岡山県5校 他県なし／設置されている分野（複数回答可）商業実務専門課程4校 工業専門課程2校 教育・社会福祉専門課程1校／就職を想定したカリキュラムで学べる内容（複数回答可）情報通信業3校 宿泊業、飲食サービス業3校 卸売業、小売業2校 医療、福祉、生活関連サービス業、娯楽業、製造業各1校／インターシップの有無 あり4校、なし1校／インターシップの期間2週間以上2校 1週間～2週間1校 4日～6日1校／在籍した（する）留学生の主な国籍 ネパール、ベトナムが最多 次にミャンマー、インドネシア その他中国、韓国少数／留学生の希望する就職先業種（複数回答可）情報通信業、宿泊業、飲食サービス業が最多 続いて卸売業、小売業／日本語教育の有無 あり5校／科目内容及び週当たりのコマ数）科目内容：JLPT対策5校 ビジネス日本語4校 週当たりのコマ数（1コマ＝45分）：6コマ以上5校

本アンケートで最も知りたかったことは、インターシップの有無と日本語教育に関することである。専門学校卒業後への就職、就労という点で非常に重要になるのが、専門課程の専門科目の習得であることは言うまでもないが、マッチング、就労、面接・・・といったインターシップ、面接と就労における日本語能力という点で、各専門学校はどのような方策、取り組みを行っているのか、を見ていくのが本アンケートである。インターシップアリとする学校が4校あり、これら4校は専門学校であると思われる。期間はそれぞれ異なるが、分野業種による「差」であると思われる。また日本語教育においては、全ての学校で週に6コマ（1コマ＝45分）以上とかなりの部分で日本語教育に力を入れているのがわかる。またJLPT対策とビジネス日本語を並行して行っていることもうかがえる。

3.企業へのアンケートと一部ヒアリング（18社）

業種：情報通信業6社 製造業3社 その他10社（複数回答1社あり）／所在地：岡山15社 福岡2社 東京、大阪各1社／外国人の雇用実績の有無：あり14社（78%）なし4社（22%）雇用人数：30人以上1社 複数社員7社 1人6社 国籍：ベトナムが最多続いて中国、韓国その他インド、ミャンマー、アメリカが複数人／今後の外国人の雇用の予定の有無：あり 14社（78%）なし1社（6%） その他3社（17%）その他の内訳：今後の事業展開による・状況に応じて対応・今年は採用予定あり、来期以降は検討中／外国人の雇用のきっかけ、目的（複数回答可）：優秀な人材の確保（日本人、外国人問わず）16社 外国人の発想企画の取り込み5社 通訳・翻訳業務5社／外国人社員に求める日本語能力：日常のコミュニケーションはとれるが、業務指示では日本語と多少の通訳・翻訳をいれての日本語能力12社（67%） 日本人新入社員と同じくらいの日本語力6社（33%）

昨年度に比べて参加企業が増加してきている。専門学校外国人留学生の就職説明会というある程度学生の専攻分野で就職先の業種が制限されるにもかかわらず多くの業種に参加されたことは評価されるべきであると思われる。またこれは外国人の雇用の実績ありの会社が多いことからもうかがえる。今後の採用予定でも8割近い企業が外国人を採用したいと考えていることがわかる。また外国人の雇用の目的については、優秀な人材の確保というのが共通しているが、具体手的には外国人の発想企画、通訳・翻訳といった回答があった。外国人留学生の就職、就労についての日本語力の期待はどのレベルの日本語能力を必要とするのか、というアンケートでは、結果のように「日常のコミュニケーションはとれるが、業務指示では日本語と多少の通訳・翻訳を入れての日本語力」という回答が多かった。これは企業が求める「最低でも」と解釈すべきボーダーラインではないだろうか？このレベルの日本語力とはどのレベルになるのか既存の日本語能力を測る試験はなく、「就労」という職場での日本語能力が測れるまたは評価できるようになれば、専門学校内でのビジネス日本語のカリキュラムが作成できるのではないかと思われる。この点については後述する。

就職説明会についてのアンケートと一部ヒアリング

1.学生におけるアンケート調査

就職説明会はどうやって知ったか 学校関係約9割／就職説明会はどうだったか（回答選択：とてもよい・よい・普通）→それぞれの答えの理由の記述：とても良い7割 良い2割 /説明会で興味を持った会社 情報通信関係、IT関係、旅行業関係と続く

就職説明会の感想（回答選択：とてもよい・よい・普通）とてもよい71.9% よい21.9% 普通6.2%

感想の理由：会社の人やさしい／行きたい企業があった、勉強になった／たくさんの企業がきてくれた／会社の説明が勉強になった／自分の専門分野以外の企業のきていて様々な会社の説明も聞かせてもらういい機会であった。興味の惹かれる会社がたくさんあった／もう少し時間がほしかった、10分は短い／ITの企業があった／いろいろな会社があり説明があった／色々なことが学べて来てよかった／色々な日本の企業の説明をしてもらった

説明会の感想はおおむね良好であると言える。それは参加企業の多くが、学生の希望する職種、業種であったことも要因にある。また感想の理由でのコメントでも、良好な感想が出ていたことは、説明会は学生にとって良い結果と言える。「時間が短い」という点は、今後の課題になると思われる。また説明会の周知に関しては、やはり学校からの周知であることから、岡山県内のもっと多くの学校への周知と学生への伝達手段方法の再検討が必要であると思われる。

2. 学校におけるアンケート調査

2024年度岡山留学生進学説明会（国内）に参加を希望するか4校（80%）／2024年度岡山留学生進学説明会（海外）に参加を希望するか しない100%／2024年度岡山留学生就職説明会に参加を希望するか する100%／就職説明会の感想（回答選択：とてもよい・よい・普通）とてもよい50% よい50%

感想の理由：学生が興味を持てる企業が来ていた／雰囲気がいよ／直接企業と話す機会を得ることができた／参加学生から「企業との交流が楽しかった・勉強になった・このような説明会にたくさん行きたい」と報告があった

本日の就職説明会はどのようにして知りましたか：学校関係者 100%

進学説明会については、岡山県内はもちろんのこと、国内の日本語学校への周知を図り、日本語学校からの参加を呼び掛けることも必要であろう。また就職説明会の感想については、とても良いと良いが半々ではあるが、改善すべき点をしっかりとフィードバックし、次年度へ向けるべきでと思われる。学校関係者と企業の面談という点に注視し、学校教職員と企業との接点をもう少し広げていくことも大切ではないかと思われる。

就職説明会の周知方法は、今後、検討課題とすべきであると思われる。

3. 企業におけるアンケート調査

就職説明会の感想（回答選択：とてもよい・よい・普通・あまりよくない）とてもよい37% 良い44% 普通13% あまりよくない6%

感想の理由：様々な学生に意見を聞いた／熱意のある学生が多かった／直接出会える／最初に大勢来て説明だけになってしまい、学生とコミュニケーションが取れなかった／様々な学生に出会えた／多くの学生に着席してもらえた／雰囲気が良い、学生が積極的／良い出会いがあった／いろいろな方と知り合う機会になった／関わりを増やすことが大事／介護職の求人募集で参加したが参加留学生のニーズする業種と案マッチング

本日の就職説明会はどのようにして知りましたか：学校関係者9社（50%） 知人6社（33%） WEB2社（11%） その他1社（6%）

とても良い、良いが8割を超えていることが重要であると思われる。企業の意見、感想もほぼ良好な言葉をいただいていることからすれば、おおむね成功であったと言える。

また説明会の開催の周知について、WEBでの周知をどのくらい広げられるかに検討をすべきことであると思われる。またハローワーク、商工会議所等への依頼含めた周知の検討がなされるべきと思われる。

就労における日本語力向上のための専門学校と企業との連携

アンケートで得た数字の分析結果を考察にあたりインプリケーションも提示していきたいと思う。

外国人社員に求める日本語能力について

6割以上の企業が「日常生活のコミュニケーションはとれるが、業務指示では日本語と多少の翻訳・通訳を入れての日本語能力レベル」を期待している。また3割以上は「日本人新入社員と同じくらいの日本語力」を期待または要件としている。

業種の分野または業務にもよると思われるが、3割以上を占めるネイティブレベルの日本語能力が求められそれに対応できる留学生の言語能力の運用には会社での「ビジネス日本語研修」また日本社会の「日本の文化・食事・服装・習慣・歴史等」の研修も必要になってくるであろう。

企業のこれらの希望は、裏返せば学校（専門学校、日本語教育機関）へ「日本語能力（特に話す、伝える、発表する能力）をもっと高めてほしい」とまた同時にメール等の伝達手段においても「読み書きできる能力をしっかりと高めてほしい」というメッセージでもあると推測される。

日本語学校においての問題点は、非漢字圏の特に東南アジア、南アジアからの留学生が圧倒的に多くなってきたということである。彼ら彼女らの日本語学習で最も苦手とするのは、漢字であろう。漢字による推測での意味の思考という漢字圏のものならできる思考様式が彼らは苦手であるといえる。現在、地方の日本語学校の留学生の大多数を占めるようになった非漢字圏の日本語学習者が、漢字の国・・・日本に就職し定住していくことを考えるならば、「日本語学習」アプリの開発の中に「漢字」アプリの開発も必要となるであろう。

大学4年間の中では、日本で就職を希望する外国人留学生を対象に、日本の職場に必要なコミュニケーション能力の向上やビジネスマナー、雇用慣行等に関する知識の習得などを目的とした研修のモデルカリキュラムとして「外国人留学生の国内就職支援研修モデルカリキュラム」が開発され、その目的を「日本での就職活動の進め方や外国人が日本企業で活躍している事例を知り、外国人留学生が日本で働くことをイメージすることで、就職活動の準備の自覚を促す」として1年次、2年次での就職活動準備コース、そして3年次、4年次では「具体的な就職活動のテクニックなど就職活動に役立つ情報に加え、入社後に想定される職場文化ギャップについて、事例を交えながら理解を深めることで、入社後の定着を目指す」ことを目的に就職活動・内定後コースが設けられている。

大学という長い期間での学習環境と、その後就職先の自由な選択（一部制限と条件あり）があるという点では、非常に重要なこととも言える。

本事業の学校の主体は専門学校である。専門学校という専門課程による就職先の「制限」ではあるが、この「制限された」業種、職種での就職を目指すキャリア教育の在り方も今後の専門学校における留学生の就職率の高さの安定材料にすべきことであると思われる。やはりここには、学校、企業それに行政（特に厚労省関係のハローワーク）との提携と情報共有が必要である。

また企業に送り込むためのキャリア教育の在り方については求める日本語能力の明示することにより、学校内での日本語教育プログラムの開発が必要であり、本事業の中にある日本語学習アプリの必要性が立証され、またビジネス日本語へ対応できる日本語教育アプリが待たれる。

インターシップについて

専門学校のほとんど（80%）が、インターシップを取り入れている。

は留学生にとっては、企業と初めて接する機会であり、自らが思い描いていた業種について学ぶ機会でもあり、入社前と入社後のイメージギャップを埋めるまたは縮めることにもなると思われる。

インターンシップでは、日常会話のほかにビジネス会話も求められる。そしてそれはさまざまなシーンに適應できる日本語力が求められ、就職という場面においては幅広い日本語能力が必要となる。

留学生にとって「入社前の職業適性の理解を高めるには、学生生活の中で、勉強だけではなく、文化理解を促進する多様な経験が有効であり、日本文化の理解の促進には学生時代の「人との交流」「社会勉強」などが有効であることが確認」や入社後においては「留学生の6割がメール、電話、面接のマナーに苦労」という報告もある。（「留学生の就職活動と入社後の実態に関する定量調査報告結果」パーソナル総合研究所2020.6）

インターシップとキャリア教育（ビジネスマナー、ビジネス日本語も含めた）、日本語能力強化のためのクラスというそれぞれが関連していく上で、重要であると言える。

外国人従業員を雇用する企業の課題

外国人社員の受け入れ後において先ず第一番目の課題は、日本語能力の不足によって「職場内のコミュニケーション」と言語外では「文化や仕事に対する考え方の理解」があげられると思われる。これについての社内での育成においては、「既存の日本語テストでは現場に必要な日本語能力を測れない」ない等の企業からの課題が出ている（厚生労働省「就労場面で必要な日本語能力の目標設定ツール 円滑なコミュニケーションのために」）。そして、企業は「仕事場面で必要な日本語のやりとりをどのように教育・評価すればいいかわからない」、「ビジネス習慣や文化の違いなど、何から教えればよいのか（どこまで理解しているか）わからない」が課題とされている（厚労省調査同上）。

このようなことから厚労省は、文化庁の「日本語教育の参照枠」での「就労」のための日本語教育とし、教育機関と企業との連携による就労のための日本語教育のモデルを開発しようとしている（「令和5年度「日本語教育の参照枠」を活用した教育モデル開発事業【就労類型】教育モデル開発・教師研修 報告一般財団法人日本国際協力センター（JICE）」）。

本県（岡山県）においても地元企業への就職の促進と就職後の支援ということを考えれば、就労後外国人社員の日本語という企業の抱える問題を専門学校は企業との連携で課題の縮小を図るべきであると思われる。

インターシップという職場の活動する空間で、どのような場面でどのような行動をする時に、どのような日本語能力が必要なのか、また学生は自分の日本語能力は、自身が思っている日本語能力と職場での期待される日本語力との差を自覚し、学生は自己の日本語力についての自己評価もできるであろう。また教育機関はインターシップでの日本語力のチェックを企業と双方で行うことにより、就労へ向けた具体的かつ明確な目標での日本語教育も可能になるとと思われる。つまりは、職場での日本語力を具体化することが必要とされていると思われる。

以上

また介護については、現在の多くの専門学校における「介護福祉」系の学生が非漢字圏であると思われる。そういった中での介護アプリの開発は留学生にとっても、また非漢字圏学生を多く抱える介護福祉の専門学校としては、大いに期待しているのではないだろうか。本アプリの開発は今後もアップデート（改善と改修）を重ねていくことが必要であると思われる。専門学校を卒業した後、介護職に就労した後でも、本アプリの活用により国家試験へのチャレンジへのモチベーションも上がるだろう。介護を勉強する留学生にとって、非常に重要な学修支援となるのは確かである。

本部会では、さらに留学生の在籍管理についても現状と改良について、委員からの現状の報告がなされてきた。また海外からのCOE（在留資格認定証明書）申請にかかわるシステムの開発についても在籍管理にかかわるデータの把握が重要であるという認識での開発は、在籍管理上非常に重要であり、評価できるものと思われる。また同時に日本語学校等の日本語教育機関では、来日後のデータ入力等でかなりの時間を有するが、このような在籍管理システムを導入することにより、時間の効率化と作業時間の軽減が計られると思われる。

3「就職支援部会」

本部会では主に「多言語就職マッチングアプリ」の新機能開発及び活用に関する協議と県内企業とのマッチングと定着支援ということを主に委員会で討議と検討が行われ実施に向けた会議が実施された。

本部会での最初の議論は、1、日本語学校におけるネパール人学生が非常に多いという問題、仮にネパールからの学生が来なくなった場合の対応という課題、2、また日本留学の目的が不明瞭なまま日本語学校へ入学している実態、3、そして主に日本語教育機関が現地日本語学校へ地元の魅力や専門学校専門課程の紹介等で日本語学校卒業後の進学等を周知してきた。

これらについて、1、に関してはインドを対象国としている点、2、については専門学校で専門分野を学ぶために日本語学校を選ぶ、3、メタバースでの説明会、WEBサイトでの情報発信を行っていく。以上のような大まかな基本方針と狙いがはっきりと出てきた。この点については現在の地方の日本語教育機関、専門学校等がまさに直面している問題と解決していかなければならない課題であり、そのことは留学生の在籍管理にも非常に密接のかかわるところである。

またアプリ関係においては、今後も人材不足が大きな懸念である介護分野でのアプリ開発（介護福祉士国家試験の過去問題のリリースと多言語化、また日本語学習アプリのN3、N2の問題追加等による昨年度のバージョンアップを図っていることが非常に評価できると思われる。

本事業のまとめ課題（本事業の継続へ向けて）

本事業でのキーワードは、地方都市、南アジア（東南アジア）の留学生、地元就職、定住、地域の活性化、そして地方都市の専門学校である。これらのキーワードで、本委託事業は、それぞれの部会で問題点、課題の解決と同じベクトルで向かっていく目標をしっかりと達成できたと思う。

現在の日本における留学生の就職状況は、日本人と比べて低い就職率そして入社後の低い定着率という二つの課題を抱えている。外国人留学生を対象とした職場定着のためのコミュニケーション能力の向上や雇用慣例等に関する知識の習得を目的とした研修を充実させるとともに研修事業の知見を基に職場定着のための研修モデルカリキュラムの作成も必要であると思われる。

また本事業での成果は、先ずは入り口の部分である岡山のアピールの発信と専門学校での専門分野を学ぶための日本語教育機関の受け入れとそれに関する日本語学習アプリ、また専門学校入学後の介護福祉士とう特定の専門分野のアプリ開発に大きな成果を出してきたと思われる。

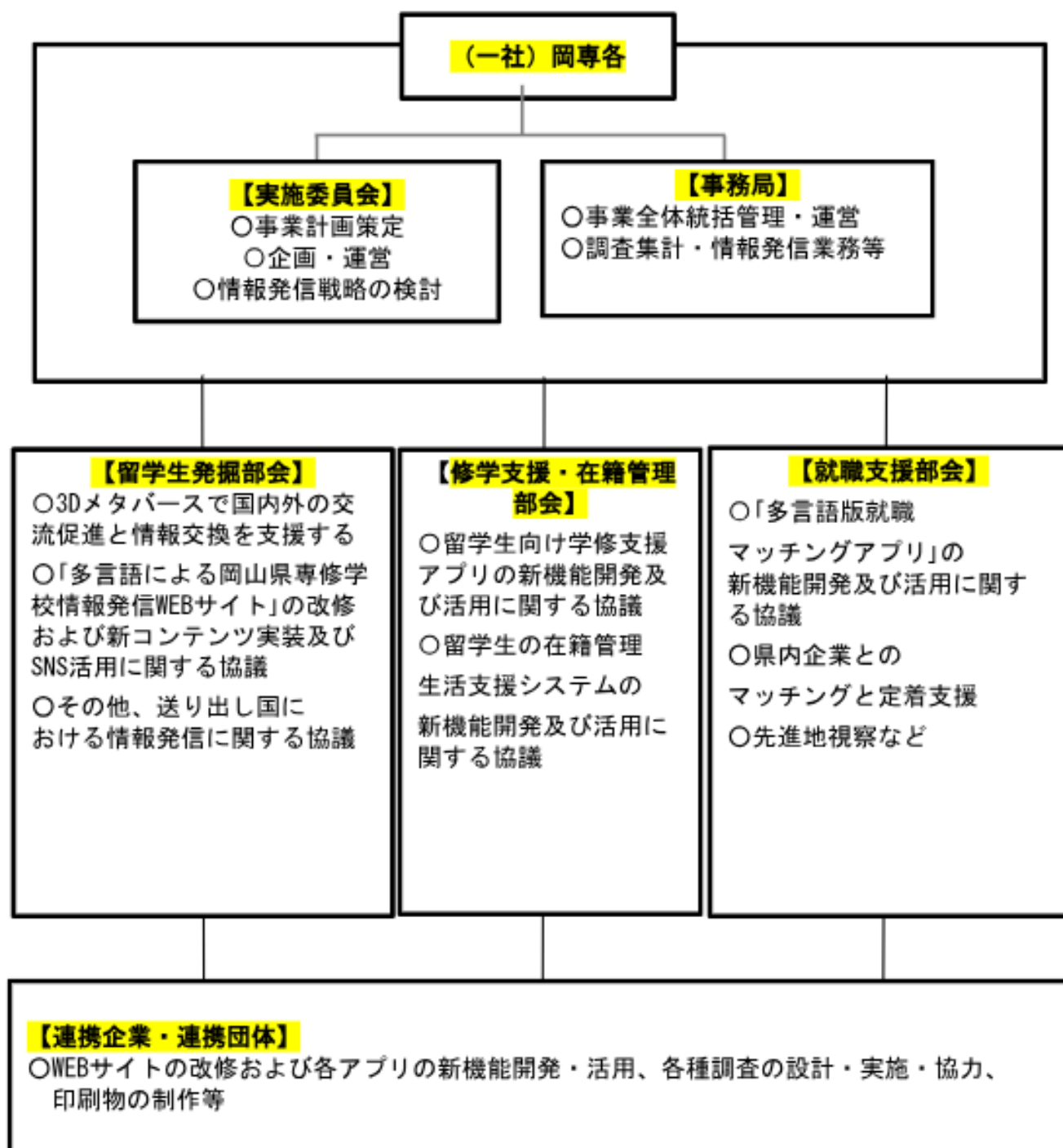
今後の課題としては、岡山県内の企業と専門学校も密接な連携、と行政の外国人を支援していく上でのバックアップが必要とされると思われる。

留学生の定住は地方における企業の生き残りでもあり、それを支える日本語教育機関、専門学校の専門教育との連携が必要であると言える。

今後は、企業での外国人職業者への定着を図る日本語学校＋専門学校＋企業との連携による定住と永住への支援方法を安定させることにより、住居の問題、子育ての問題の解決等が図れるオール岡山という体制での支システムの構築が不可欠であると思われる。

7.事業の実施体制

岡専各加盟校のうち、すでにグローバル化を推進している専門学校と企業を中心に、事業全体の進捗を共有する「専修学校グローバル推進委員会」を形成し、その配下に、専門学校を正メンバーとし、企業は任意参加として、各取組に応じた3つの部会を設置し、各取組について意見交換、進捗を共有する体制を形成し、推進を図った。



《構成機関・構成員》

(1) 教育機関

	名称	役割等	都道府県名
1	中国デザイン専門学校	実施委員会/留学生発掘部会/修学支援・在籍管理部会/就職支援部会	岡山県
2	岡山商科大学専門学校	実施委員会/留学生発掘部会/修学支援・在籍管理部会/就職支援部会	岡山県
3	岡山ビジネスカレッジ	実施委員会/留学生発掘部会/修学支援・在籍管理部会/就職支援部会	岡山県
4	倉敷ファッションカレッジ	実施委員会/留学生発掘部会/修学支援・在籍管理部会/就職支援部会	岡山県
5	岡山情報ビジネス学院	実施委員会/留学生発掘部会/修学支援・在籍管理部会/就職支援部会	岡山県
6	日本ITビジネスカレッジ	実施委員会/留学生発掘部会/修学支援・在籍管理部会/就職支援部会	岡山県
7	岡山外語学院	実施委員会/留学生発掘部会/修学支援・在籍管理部会	岡山県
8	長船日本語学校	実施委員会/留学生発掘部会/修学支援・在籍管理部会	岡山県
9	学校法人森教育学園	実施委員会/留学生発掘部会/修学支援・在籍管理部会	岡山県
10	KLE-Technology University	連携機関	インド
11	Centurion University of Technology and Management	連携機関	インド
12	Association of Friends of Japan(AFJ)	連携機関	インド

《構成機関・構成員》

(2) 企業・団体

氏名		所属・職名	役割等	都道府県名
1	高橋 邦彰	岡山商工会議所 専務理事	実施委員会/就職支援部会	岡山県
2	井上 伸一	株式会社システムズナカジマ マネージャー	実施委員会/就職支援部会	岡山県
3	森 淳	株式会社ハコブネ 代表取締役	実施委員会/就職支援部会	岡山県
4	青木 すみれ	株式会社キャリアプランニング	実施委員会/就職支援部会	岡山県
5	木本 康大	株式会社ファーストディレクション	実施委員会/就職支援部会	岡山県
6	松田 葉子	まつだ国際法務オフィス 代表/特任行政書士	実施委員会/修学支援・在籍管理部会/就職支援部会	岡山県
7	谷村 良太	株式会社クボタ	実施委員会/就職支援部会	

(3) 行政機関

氏名		所属・職名	役割等	都道府県名
3	秋山 秀行	瀬戸内市国際交流推進協議会	実施委員会	岡山県

8. 事業全体の所感と改善案

はじめに

政府が掲げた2008年に掲げた「留学生30万人計画」は、2019年に外国人留学生の総数が312,214人に達した。それにより「入り口」では成功したといえる。しかし、その「出口戦略」ともいべき留学生の「就職」での状況は、比較するならば日本人学生に比べて「就職率」は低いと言える。そこで「日本再興戦略2016」(2016年6月2日閣議決定)において「外国人留学生の日本国内での就職を3割から5割に向上させることを目指す」として「留学生就職促進教育プログラム認定制度」を打ち出し、大学生の留学生の就職支援を強化してきている。このことにより各大学は、産業界と連携して実施する「日本語教育」「キャリア教育(日本企業論)」「インターンシップ」等主にこの3点の実施し、大学の外国人留学生の就職率を向上させていこうとしている。

このような留学生の就職という出口戦略も含めて、本事業では「海外からの学生誘致、日本語教育機関での日本語教育、専門学校での専門課程教育そして企業とのマッチング」を目指し、それに必要な岡山県の魅力の発信、日本語学習アプリ等の開発とアップデート、国内外での進学説明会の実施の手段方法の昨年度に引き続くアップデート化を進め、就職説明会の開催とそして定住支援を考えた事業のプログラム作りであると言える。その中でも特に仮想空間を活用した日本(岡山)留学の動機付けを行い魅力的な岡山留学を動画で演出し就職説明会で留学生と岡山県内の企業のマッチングを実施する。

1. 本事業を実施する背景(課題と問題の所在)

文科省は、2008年に「留学生30万人計画」を掲げ目標とした2020年より1年早く2019年5月時点で31万人を達成した。しかしコロナ禍によって30万人を割り、24万人(2021年度)となったのを27年までに30万人に、さらに33年までに40万人にという計画を打ち出している。

日本における留学生の受け入れは、益々積極的になりつつあるが、一方において外国人留学生の就職率の低迷問題は、解消されていない状況にあると言える。

中国人留学生の高学歴志向と回帰現象 インドネパールからの留学生の受け入れと就職

まずは現在の海外からの日本語教育機関における地方と都市との留学生の国籍の偏重が顕在化している。特に「中国人」留学生においては、東京への集中が見られ、地方にはネパール、ベトナム等の学生が集中している傾向にある。また中国人学生においては、日本国内での就職というよりも大学への進学はもちろん大学院への進学と母国への帰国という「回帰」への留学志向が高まっている。よって、現在の留学生に岡山での就職と定住を期待すべきは南アジア、東南アジアの学生であると思われる。

地方における留学生の国籍は、コロナ禍前においてはベトナムが多く見られたが、現在ベトナムからの留学生は限られてきている。地方における留学生の国籍は、コロナ禍前のベトナム、ミャンマー、スリランカ、バングラディッシュ、ネパールであったが、現在はネパールを主にミャンマーが増加傾向にあると言える。このような中であって、留学生の受け入れの拡大と留学生の出口戦略とも言うべき就職については、特に日本人と比べて低い就職率、そして入社後の低い定着率を上げられる。現在、政府により大学卒業の留学生の就職は、その就職に関する条件が緩和され、大学卒業の留学生にとっては、その就職への要件は緩和されつつある。そこには出入国管理局による「学歴」という要件により専門学校との差が生じており、特に地方における専門学校の留学生は地方での就職に関して様々な課題がある。

そういった中で外国人を留学生として受け入れ、日本語学校等の日本語教育機関での日本語教育、専門学校での職業専門教育を行い、地元企業へ就職と同時に定住者となり市民となるという過程を本事業で地方都市における留学生の定着を図る事業であると言える。

このことは、受け入れの学校、そして就職先の企業、そして留学生がというそれぞれが「恩恵」とメリットを受けられるという関係で初めて「仕組み」ができあがるものである。この仕組みにより、社会で活用される留学生の人材育成と地域社会の様々なところにおける活性化が可能になると思われる。

本事業の柱となるものは、仮想空間を活用した日本（岡山）留学の動機付けを行い魅力的な岡山留学を動画で演出し更には就職説明会で留学生と岡山企業のマッチングを実施する。

本事業でのこれらの「事業」を達成するために、留学生の受け入れとしての「留学生発掘部会」、在学中の「修学支援・在籍管理部会」、企業への就職をスムーズに行うための「就職支援部会」が設置されそれぞれの活動が事業達成に向け活動してきた。

各部会における検証と課題

第一回での本事業の方針が以下のように出されている。

第一回委員会

方向性指針として、対象国をインドとした理由の説明があり、また海外から直接留学生のCOE申請の開発、多言語動画の作成とSNSによる岡山県の拡散、対象国であるインド視察、ネットによるメタバース留学説明会についての課題と検討が行われた。

委員の現状報告

1. 就職先が県外であり、東京、大阪への流出の課題

専門学校専門課程卒業の留学生の就職先が東京、大阪、広島、岡山であり、3分の一が岡山であることが報告されている。また友人や先輩の紹介などでの就職に関して注目したいのは、せっかく岡山の専門学校を卒業しても、隣県の広島、そして東京、大阪へ流れていく状況は、地方都市でも同じようにみられる現象であり、岡山県のみではないと言える。そのような意味で先ずはこのような状況の流れを変えるべく必要があるという点を注視しておきたい。

2. 日本語能力の低下の課題

かつては中国韓国を中心とした学生が多く、日本語能力においては、N1を目指す授業の開講が多く、同時にEJU対策も行われていたと思えるが、本県（岡山）においてもベトナム、ネパール等（一部欧米系）の非漢字圏の外国人留学生が増加したことと、同時にコロナ禍における日本語力の低下がこの2、3年生起きている。

3. 企業の受け入れ体制

企業中国籍社員のIDカード更新による急遽の帰国という会社の受け入れ体制での外国人社員特有の制度の問題もある。またインドは人選するといいい人がいる技人国の学生が欲しい企業はたくさんあるが、但し中小企業での採用は、現実可能なのかという疑問と不安がある。

4. 昨年度の課題へ向けた取り組みについての意見

動画閲覧サイトについて今年は向上させていくこと、また多言語サイト閲覧人数はKPIをクリアしていくことが重要である。という意見があり、また動画のアップデートについて委員等により意見が出されているがこれをどのように盛り込んでいくかが課題となる。

これについて、専門家としての意見は、今後は、コロナ禍後において、留学生の受け入れ数も回復していく傾向にあるだろう。専門学校を卒業し、就職につながるような支援体制の整備のモデル化が、専門学校卒業生の技人国での就職率向上を目標としている文科省が一番期待しているところである。

昨年度に引き続き、「留学生発掘部会」、「修学支援・在籍管理部会」、「就職支援部会」がリンクしながら本事業の達成に向けて成果を上げてきたと思われる。

本事業の総括を以下したいと思う。

1. 「留学生発掘部会」における委員会の活動において、

3Dメタバースでの県内外の日本語学校、また海外の日本語学校への「説明会」をメタバースで行った。本事業での3Dメタバースは、海外及び岡山県内外の学生または学校関係者を対象に岡山県内の専門学校、日本語学校の紹介を行い、海外からの留学希望者、県内外の日本語教育機関の学生の取り込みにおいて可能性の広がる事業であると言える。

現在、メタバースによる活用は、教育空間に特化したメタバースは不登校や日本語の指導が必要な児童・生徒に3Dメタバースで「居場所」と「学びの場」の提供であり、また日本語の指導が必要な児童・生徒向けの日本語教育を主にした活用がなされている。オンラインの特徴である場所の制約を問わない点に大きな利点がある。

これまでの海外における学生募集に関して、教職員の現地への渡航費等を含めて多額の費用と時間をかけて現地留学説明会を行い、学生の募集にあたってきた。しかしながら3Dメタバースでの学校説明会はこれまでの学生募集の方法の在り方を変えていく可能性のあるものであることが実証されてきていると思われる。

同時に今回の対象国であるインドの学生の取り込みについては、MOU締結に関しては、面談と協議を直接行うことにより、相互理解と信頼関係を結ぶ上での非常に重要な点であることは言うまでもない。今後の3Dメタバースは、地域の日本語教育機関と専門学校及び企業にとって活用度の大きいものになっていくと考えられる。

次の「多言語化による岡山県専修学校情報発信WEBサイト」の改修及び新コンテンツ実装及びSNS活用に関する協議及び③「送り出し国における情報発信に関する協議」については、

WEBサイトによるアップデートでは、委員等から以下の提案がなされている、すなわち、「企業紹介が必要 岡山アピール夏祭り等の具体的 学生の一日があるとイメージしやすい 学校のアピールポイントの多様性 卒業生の永住権を取った人の紹介 岡山の生活コストの安さ 生活レベルは同じ就職した学生の様子のインタビュー 食べ物が安い 中央市場 現実的な情報を取り入れる」等であるが、まずは海外在住の日本情報を特にどこに求めているのか、情報のニーズをしっかりと把握する必要があるのではないか。そのためにも現在日本で在籍中の学生へのアンケートインタビューでの取り上げる情報発信の「絞り込み」とより詳しい「深堀」の必要性があると言える。

本事業での狙いは、本県（岡山県）への留学の誘致と本県での進学、そして本県への就職と定住である。よって来日前、または県外からの留学生への本県の紹介は重要な項目であり、本県への新規留学者がWEBサイトでの紹介と現実との差を少なくすることに注意を払いながら作成していく必要がある。今回は提言のあったサイトのアップデート化は全ての提案、提言を反映することはできなかったが、今後はアクセスの状況を見ながら、新規留学者候補は本県の何に関心があるのか？またはないのかを取捨選択しアップデートしていくことが望ましいと思われる。

またインドでの学生誘致については、昨年度から引き続き重要なミッションであり、今後の学生の国籍が大きく変わっていく可能性のある企画であると思われる。それは今回のインド視察において、4校の大学とのMOU締結に見られるように実績が伴う視察となっている。今後は、MOU締結後の具体的な提案を双方が行い、留学生の誘致が現実化していくよう積極的なアプローチを日本語教育機関、そして専門学校と企業が一体となり行うことが必要であると言える。

2. 「修学支援・在籍管理部会」

日本語学習面で、留学生向け修学支援アプリのアップデートが行われている。これまでN5、N4レベル相当であったものが、委員からの意見もあるようにN3、N2まで入ったことにより、充実したものになっている。

日本語学習アプリでN5～N2まで充実させたことにより、国内の日本語教育機関においての日本語学習者はもちろん海外の日本語学習者がN2までの試験を目指すことにより、日本の専門学校への入学が可能になりJLPTでのN2合格への支援となると思われる。また本アプリを使っての専門学校においてのJLP対策の日本語授業の一助にもなるだろうし、専門課程での勉強、また生活の中での「隙間時間」での学習にも活用されると期待できる。日本語学習が、机の上だけでなくあらゆる場所でも学習可能というのがこのアプリの特徴であり、活用されることに期待できる。

そのためにもまずは大学進学ではなく専門学校への進学の利点のアピール、そして東京、大阪、他県との差別化そのためには何が必要なのか考えていくことが必要であると思われる。

また専門学校内におけるキャリア教育としての専門学校が企業と連携し就職に必要なスキルである「ビジネス日本語」等を在学中から身に付ける教育プログラムの作成の必要性もある。

また実際に本事業の中で、留学生が来日し、岡山県内の日本語教育機関、または専門学校に入学した場合のヒアリングまたはアンケートでの調査を行うことにより、本事業の見直し、改善等も計られると思われる。例えば①留学先に日本を選んだ理由②日本での留学生活で力を入れていること③企業への就職希望の有無④日本の企業についてのイメージ⑤どのくらいの期間日本で働きたいと思うか⑥日本の企業への就職が決まらなかった場合どうするか等をモニタリングすることも必要であると思われる。

以上

9. 事業終了後に実施予定の取組及び成果の普及方案

更なる岡山への留学・修学・就職のワンストップ岡山をめざす。

インド視察で成功した現地大学とのMOU締結に基づき、日本へ留学したい学生を誘致。具体的には、本事業でつくった人的なプラットフォームを活用することで、学校説明会や、交流会を開催。さらに、多言語ウェブサイトや動画で周知することにより、留学だけでなく、学修、就職という成功体験を留学希望者へ植え付ける。また、日本語等学習アプリ活用により、来日前より初中級日本語を学修し、岡山での生活や、学修をより円滑に進めるうえで大きなアドバンテージになる。在籍管理システム等は、留学生管理に活用する。

また、留学生に対して、就職マッチングシステムの活用と、就職説明会を開催することにより、就職マッチングの機会を提供する。多言語動画等の効果で、岡山在住の先輩の就職成功例が広く認知され、連鎖的な留学希望者の更なる増加を見込む。

○本事業終了後の活用方針

本事業を実施することで、継続的に海外在住の外国人が日本留学を志すきっかけになる事業とする。

コロナ禍で減少した留学生も戻りつつあるいま、地方都市の岡山県を選択してもらうため、本事業で協力関係を構築した「岡山県専修学校各種学校振興会留学生委員会」では、就職後のサポート体制も想定し、定例会議（各担当者）を行い、さらなるアップデートをしていく。

インド視察で連携協定MOU締結した学校等へも広報を充実させ、閲覧者、アプリのダウンロード数量的拡大を行い、さらなる複数国への開拓を行う。

本事業で制作した成果物を活用し、岡山県にあまねく留学生を招致する契機とする。

余白

本報告書は、文部科学省の教育政策推進事業委託費による委託事業として、《受託者の名称》が実施した令和5年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業」の成果をとりまとめたものです。

令和5年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業」
仮想空間とICTを活用した来日・就学・就職の
岡山県ワンストップ留学生支援体制設備事業
成果報告書

発行日 2024年3月
受託 一般社団法人岡山県専修学校各種学校振興会
住所 岡山県岡山市北区内山下2-4-6 岡山県庁総務部総務学事課内